

2024年3月期 第1四半期決算 投資家向け説明会

2023年8月8日

ソフトバンクグループ株式会社



免責事項

本資料は、ソフトバンクグループ株式会社（以下「SBG」）及びその子会社（以下SBGと併せて「当社」）並びに関連会社（以下当社と併せて「当社グループ」）に関する関連情報を提供するものであり、すべての法域において、いかなる証券の購入又は応募の申込みを含む、いかなる投資勧誘を構成又は形成するものではありません。

また、本資料は、Arm Limitedが発行する証券の購入または応募の申込み、またはその勧誘を構成するものではありません。あらゆる証券の購入または応募の申込み、またはその勧誘は、1933年米国証券法（改正法も含む）およびその他の適用証券取引関連法令に従い登録制に基づき行われます。

本資料には、当社グループの推定、予測、目標及び計画を含む当社グループの将来の事業、将来のポジション及び業績に関する記述など当社グループの将来の見通しに関する記述、見解又は意見が含まれています。将来の見通しに関する記述には、特段の限定を付すことなく、「目標とする」、「計画する」、「確信する」、「希望する」、「継続する」、「期待する」、「目的とする」、「意図する」、「だろう」、「かもしれない」、「であるべきである」、「したであろう」、「できた」、「予想する」、「推定する」、「企図する」若しくは類似する内容の用語若しくは言い回し又はその否定形などが含まれています。本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、当社グループが本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた、当社グループの現在の前提及び見解に基づくものです。これら将来の見通しに関する記述は、当社グループのメンバー又はその経営陣による将来の業績を保証するものではなく、当社グループのビジネスモデルの成功、当社グループの資金調達力及びその資金調達条件の影響、SBGの重要な経営陣に関するリスク、当社グループの投資活動に関する又はこれに影響を与えるリスク、SBファンド（下記で別途定義）並びにその投資、投資家及び投資先に関するリスク、ソフトバンク株式会社及びその事業の成功に関するリスク、法令・規制・制度などに関するリスク、知的財産権に関するリスク、並びに訴訟を含むこれらに限られない既知及び未知のリスク、不確実性その他要因を含み、これらの要因により、実際の当社グループの実績、業績、成果又は財務状態は、将来の見通しに関する記述において明示又は黙示されている将来の実績、業績、成果又は財務状態と著しく異なる可能性があります。当社グループの実績、業績、成果又は財務状態に影響を与える可能性のあるこれら及びその他の要因については、SBGのホームページの「事業等のリスク」(https://group.softbank/ir/investors/management_policy/risk_factor) をご参照下さい。当社グループ及びその経営陣は、これら将来の見通しに関する記述に明示されている予想が正しいものであることを保証するものではなく、実績、業績、成果又は財務状態は、予想と著しく異なる可能性があります。本資料を閲覧する者は、将来の見通しに関する記述に過度に依拠してはなりません。当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当社グループの将来の実績の予測若しくは予想の指標となるものではなく、又はこれを推定するものでもありません。本資料に記載されている当社グループ以外の企業（SBファンドの投資先を含みますが、これに限られません。）に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、情報の正確性又は完全性について保証するものではありません。

商標について

本資料に記載されている企業、製品及びサービスの名称は、各企業の商標又は登録商標です。

重要なお知らせ—SBGの普通株式の取引、スポンサーなしADR（米国預託証券）に関する免責事項

SBGの普通株式の売買を希望する場合には、当該普通株式が上場され、主に取引が行われている東京証券取引所において売買を行うことを推奨します。SBGの開示は、スポンサーなしADR（以下「ADR」）の取引の促進を意図するものではなく、ADRの取引判断を行う際にこれに依拠すべきではありません。SBGは、SBGの普通株式に関するスポンサーなしADRプログラムの設立又はそれに基づき発行されるADRの発行若しくは取引について、過去及び現在において、参加、支援、推奨その他同意を行ったことはありません。SBGは、ADR保有者、銀行又は預託機関に対して、(i)SBGが1934年米国証券取引所法（以下「証券取引所法」）で定めるところの報告義務を負うこと、又は、(ii)SBGのホームページに、SBGが証券取引所法ルール12g3-2(b)に従って証券取引所法に基づくSBGの普通株式の登録の免除を維持するために必要な全ての情報が継続的に掲載されることを表明するものではなく、また、当該者又は機関は、そのように信じてはなりません。適用ある法が許容する最大限の範囲において、SBG及び当社グループは、SBGの普通株式を表象するスポンサーなしADRに関連して、ADR保有者、銀行、預託機関その他企業又は個人に対するいかなる義務又は責任を否認します。

上記の免責事項は、ソフトバンク株式会社やZホールディングス株式会社などの、スポンサーなしADRプログラムの対象であるか又は将来対象となる可能性のある当社グループの証券と同様に適用されます。

本資料に記載されるファンド情報に関するお知らせ

本資料は、情報提供を目的として提供されるものであり、法律上、税務上、投資上、会計上その他の助言又はSB Global Advisers Limited（以下「SBGA」）、SB Investment Advisers (UK) Limited（以下「SBIA」）及びこれらの関係会社を含むSBGの子会社（以下併せて「SBファンド運用会社」）により運用されるいずれかのファンド（文脈に応じて、パラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて「SBファンド」）のリミテッド・パートナーシップ持分又は同等の有限責任持分の販売の申込み又は申込みの勧誘を行うものではなく、また、いかなる方法でもそのように依拠してはなりません。疑義を避けるために付言すると、SBファンドは、他のファンド同様、SBIAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド1」）、SBGAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund II-2 L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド2」）及びSBGAとその関係会社によって運用されているSBLA Latin America Fund LLC（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ラテンアメリカ・ファンド」）を含みます。SBファンド（ビジョン・ファンド1及びビジョン・ファンド2並びにラテンアメリカ・ファンドを含む）、SBファンド運用会社、SBファンド運用会社により運用される後続又は将来のファンド、SBG又はそれぞれの関係会社のいずれも、本資料に記載されている情報の正確性又は完全性について、明示又は黙示であるとかかわらずこれを表明又は保証するものではなく、また、本資料に記載されているパフォーマンスに関する情報はSBファンドその他本資料に言及される企業の過去若しくは将来のパフォーマンス又はSBファンド運用会社により運用される後続ファンド、将来組成されるファンドの将来のパフォーマンスについての確約又は表明として依拠してはなりません。

SBファンドその他本資料に言及される企業のパフォーマンスに関する情報は、背景説明のみを目的として記載されるものであり、関連するSBファンド、本資料に言及されるその他のファンド又はSBファンド運用会社により将来運用されるファンドの将来のパフォーマンスを示すものとして考慮されるべきではありません。SBファンドの特定の投資対象に関する情報への言及は、それに含まれる範囲において、関連するSBファンド運用会社の投資プロセス及び運用方針を説明することのみを目的として述べられたものであり、特定の投資対象又は証券の推奨として解釈してはなりません。SBファンドのパフォーマンスは各個別の投資においてそれぞれ異なる可能性があり、個別に言及した取引のパフォーマンスは、必ずしも全ての適用される従前の投資のパフォーマンスを示唆するものではありません。本資料において記載及び説明される特定の投資は、関連するSBファンド運用会社が行う全ての投資を示すものではなく、本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むと仮定すべきではありません。

本資料に記載されるSBファンドのパフォーマンスは、ポートフォリオ投資の未実現の評価額に基づくものです。未実現の投資評価額は、関連するSBファンド運用会社がそれぞれ特定の投資に関する状況に基づき合理的とみなす前提及び要因（例えば、評価日現在における類似の会社の平均株価収益率その他勘案事項等を含みます。）に基づくものです。しかしながら、未実現の投資評価額が本資料に記載されている金額又は本資料に記載されているリターンを算定するために用いられる金額で実現されるという保証はありません。また、かかる実現に関連する取引費用が未知であるため、当該取引費用は、かかる算定に含まれません。未実現額の見積りは、常に変化し多くの不確定要素の影響を受けます。関連するSBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、いくつかの要因がある中で特に、将来の運用実績、処分時の資産価格及び市況、関連する取引費用並びに売却の時期及び方法によって決まるものであり、これらの要因は全て、関連するSBファンド運用会社の評価の根拠となった前提及び状況と異なる可能性があります。

過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではありません。SBファンド又はSBファンド運用会社により運用される将来のファンドのパフォーマンスは、本資料に示されるパフォーマンス情報よりも大幅に低くなる可能性があります。各SBファンド又は関連するSBファンド運用会社により運用されるいずれか将来のファンドが、本資料に示される実績と同等の実績を達成するという保証はありません。

本資料に記載される第三者のロゴ及びベンダー情報は、説明目的のためにのみ提供されるものです。かかるロゴの記載は、かかる企業又は事業との提携又はその承認を示唆するものではありません。SBファンド運用会社、SBファンドのポートフォリオ会社、SBファンド運用会社により運用される将来のファンドの将来のポートフォリオ会社、又はSBGが、本資料に記載されるロゴを有する企業又は事業のいずれかとは今後業務を行うという保証はありません。

SBGA及びSBIAは、ビジョン・ファンド1、ビジョン・ファンド2及びラテンアメリカファンドの運用に関して、相互にSBGからそれぞれ別個独立した業務プロセスを採っています。SBGA又はSBIAによって運用されるSBファンドは、それぞれSBGA単独又はSBIA単独で運用されています。

本資料における為替換算レート

(円)

期中平均レート	FY22/Q1	FY22/Q2	FY22/Q3	FY22/Q4	FY23/Q1	FY23/Q2	FY23/Q3	FY23/Q4
1米ドル	129.04	138.68	141.16	133.26	138.11			
期末レート	2022/6月末	2022/9月末	2022/12月末	2023/3月末	2023/6月末	2023/9月末	2023/12月末	2024/3月末
1米ドル				133.53	144.99			

略称について

本資料では、以下の略称は以下の意味を指す。なお、企業名から「株式会社」や「(株)」を省略している箇所がある。

略称	意味 (傘下子会社がある場合、それを含む)
SBG	ソフトバンクグループ(株) (単体)
当社	ソフトバンクグループ(株)および子会社
SBKK	ソフトバンク(株)
SB Northstar	SB Northstar LP
SVF1 または ソフトバンク・ビジョン・ファンド1	SoftBank Vision Fund L.P. および代替の投資ビークル
SVF2 または ソフトバンク・ビジョン・ファンド2	SoftBank Vision Fund II-2 L.P.
LatAmファンド または ラテンアメリカ・ファンド	SBLA Latin America Fund LLC
SVF	SVF1、SVF2およびLatAmファンド
SBIA	SB Investment Advisers (UK) Limited
SBGA	SB Global Advisers Limited
SBGC	SoftBank Group Capital Limited
Tモバイル	スプリントと合併後のT-Mobile US, Inc.
ドイツテレコム	Deutsche Telekom AG
アーム	Arm Limited
アリババ	Alibaba Group Holding Limited

その他

本資料において端数処理の関係上、合計と内訳が一致しない場合がある。

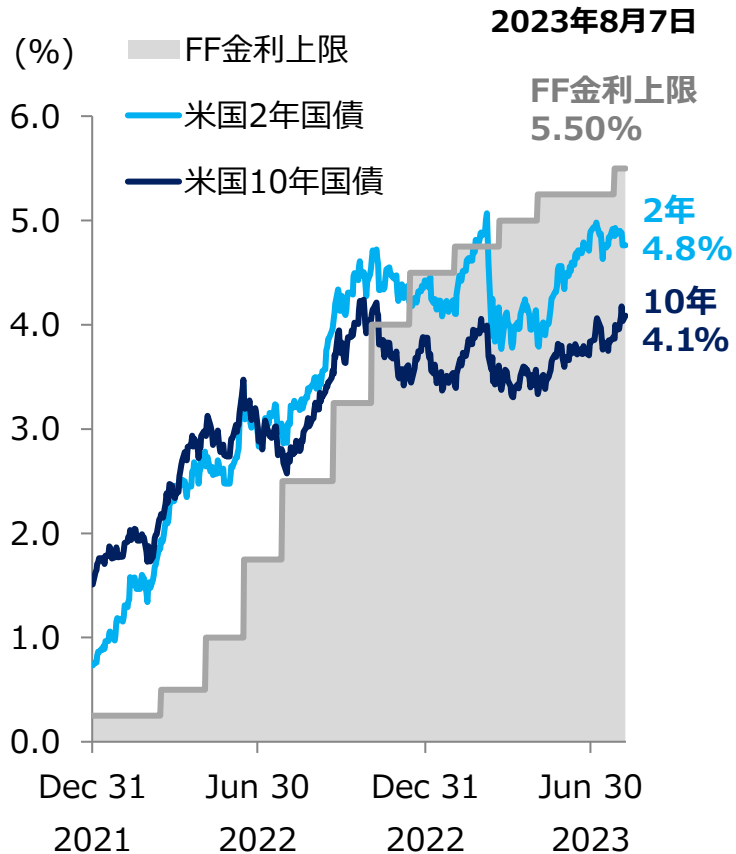
財務編

“SBG単体”の財務指標は、別段記載のない限り、連結グループから独立採算子会社を除いた数値を示します。独立採算子会社は、SBKK（ZホールディングスおよびPayPayをはじめとする子会社を含む）、SVF1、SVF2、LatAmファンド、アーム等です。

環境認識について

米国金利は上昇に一服感。為替は年初から円安・ドル高方向
米国株は大型テック銘柄が主要指数の上昇を牽引

米国金利



為替 (ドル円)



米国株価*1

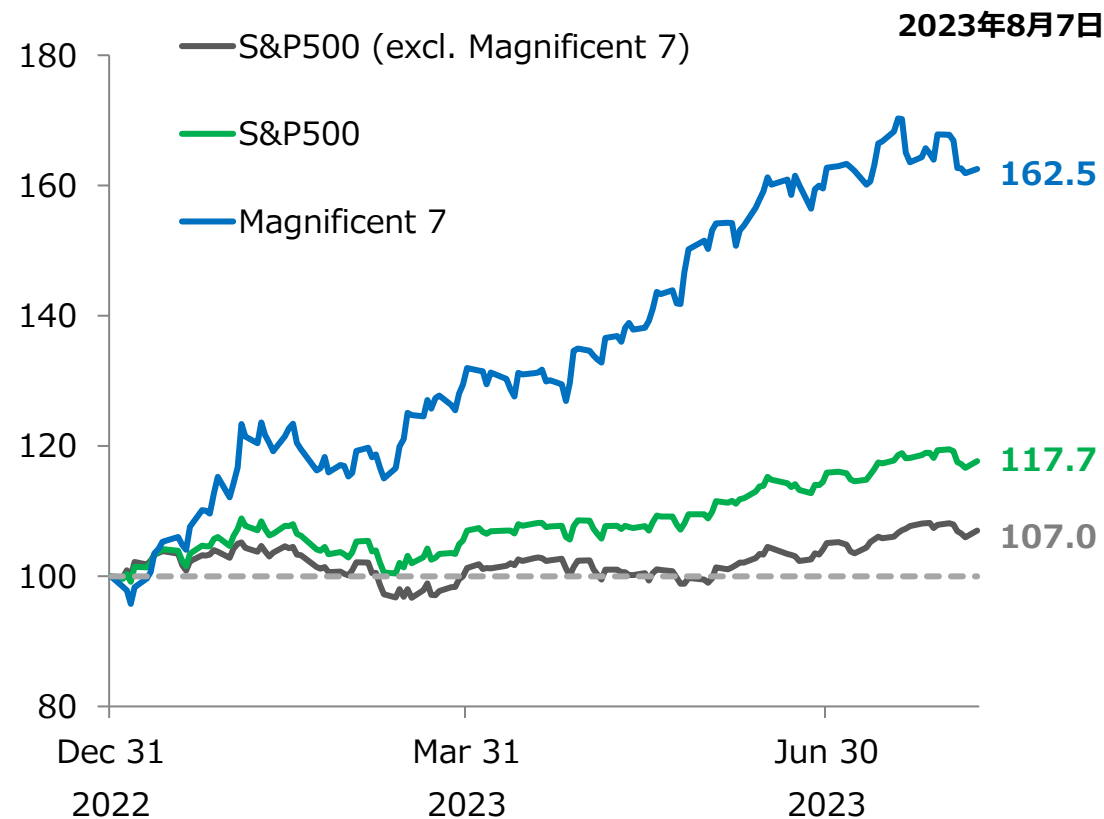


(注) Bloombergを基に当社作成
*1 2021年12月末を100として指数化
*2 フィラデルフィア半導体株指数 (SOX)
*3 Thomson Reuters Venture Capital Index

米国株の上昇要因（2023年1月1日から8月7日）

大型テック銘柄および半導体銘柄が米国株の急回復に寄与 年初からVC指数も良好なパフォーマンス

Magnificent 7（“大型テック銘柄”）*1,2



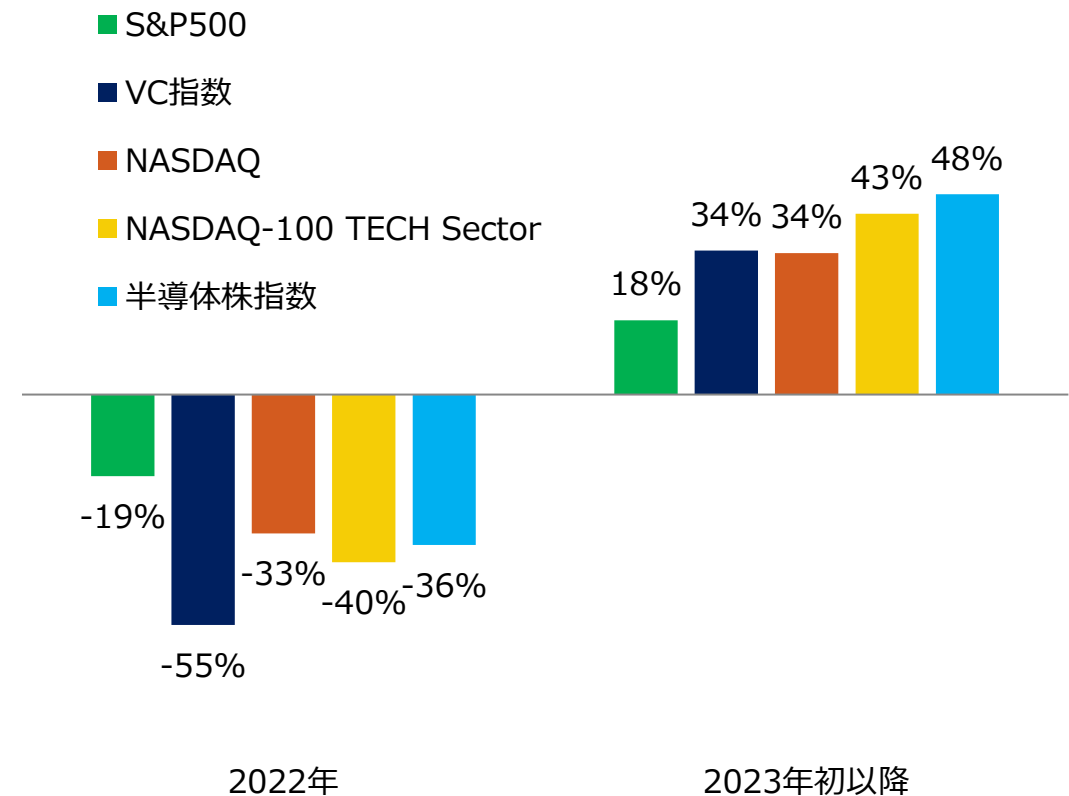
(注) Bloombergを基に当社作成

*1 2022年12月末を100として指数化

*2 Magnificent 7: Alphabet, Amazon, Apple, Meta, Microsoft, Nvidia, Tesla。グラフは当該7銘柄の時価総額加重平均

*3 2022年のパフォーマンスは、2021年12月末の終値と2022年12月末の終値を比較。2023年初以降のパフォーマンスは、2022年12月末の終値と2023年8月7日の終値を比較

指数別パフォーマンス*3



NAV・LTVの推移

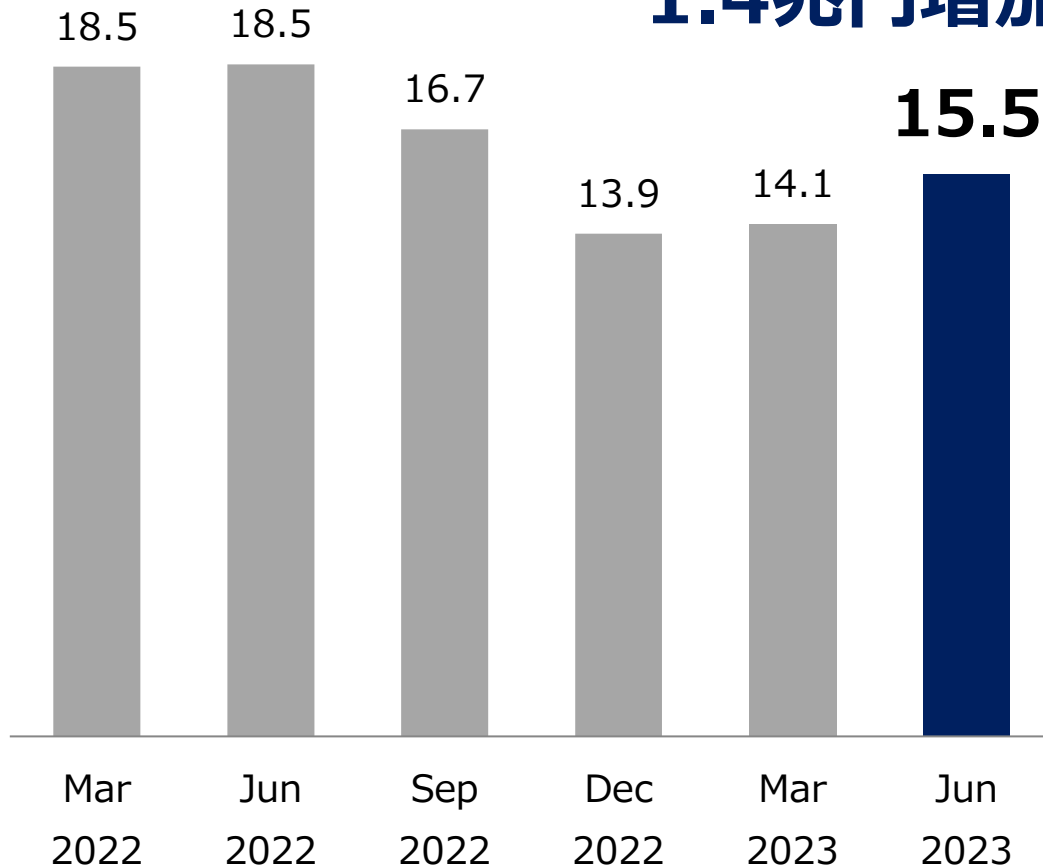
NAVは為替および株高の影響から2四半期連続で増加。LTVは過去最低

NAV

(兆円)

2023年3月末比

1.4兆円増加

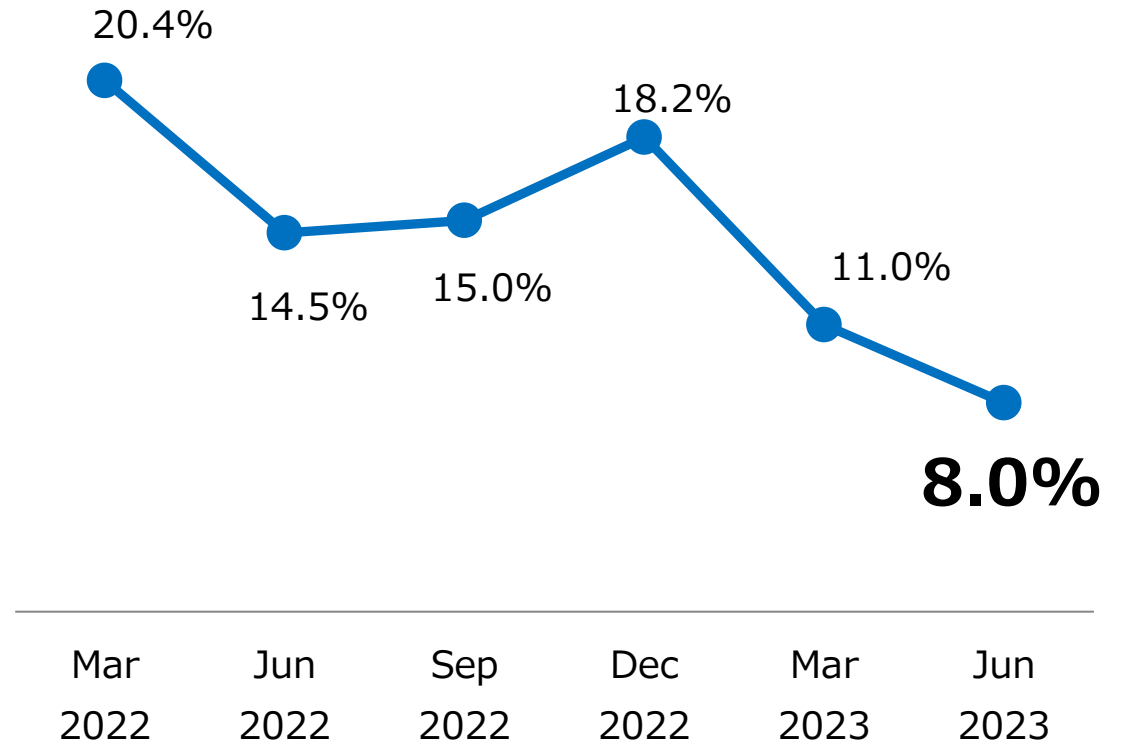


LTV

2023年3月末比

3.0ポイント改善

LTV 25%



(注) NAV (Net Asset Value : 時価純資産) = 調整後SBG単体保有株式価値 - 調整後SBG単体純有利子負債

FY2023 Q1の主な財務活動

財務ポリシーを堅持しながら「攻め」の投資を再開へ

<p>NAV・LTV</p>	<p>NAV 15.5兆円 (2023年3月末比 +1.4兆円) LTV 8.0% (2023年3月末比 -3.0ポイント) 純有利子負債 1.4兆円 (2023年3月末比 -0.3兆円) 手元流動性 5.8兆円^{*1} (2023年3月末比 +0.7兆円)</p>
<p>財務活動</p>	<p>ドル建ハイブリッド社債をリファイナンス。アリババ株式は資金化完了</p> <ul style="list-style-type: none"> - ドル建ハイブリッド社債のリプレースメント^{*2} <ul style="list-style-type: none"> ● 調達：国内ハイブリッド社債およびハイブリッドローン 計2,751億円 ● 償還：ドル建ハイブリッド社債 \$2.0B (約2,597億円) (7月) - シニア社債満期償還 約1,213億円^{*3} - アリババ株式を活用したアセットバック・ファイナンス \$4.4B (約6,056億円)
<p>投資活動</p>	<p>SVF2およびSBG他からの投資再開</p> <ul style="list-style-type: none"> - Q1投資額 \$1.8B (約2,416億円) ^{*4} - SBIナジー売却 (持分の85%) 1,020億円^{*5} - SymbolicとのJV設立、追加投資 (7月)

*1 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + コミットメントライン未使用枠。2023年6月末のコミットメントライン未使用枠は7,026億円相当。SBG単体ベース (SB Northstarを除く。ただし現金及び現金同等物は含む。)

*2 ドル建ノンコール6年永久劣後社債をリプレースメント。2023年9月に期限前償還を迎える国内ハイブリッド社債 (154億円) についても、リファイナンス完了

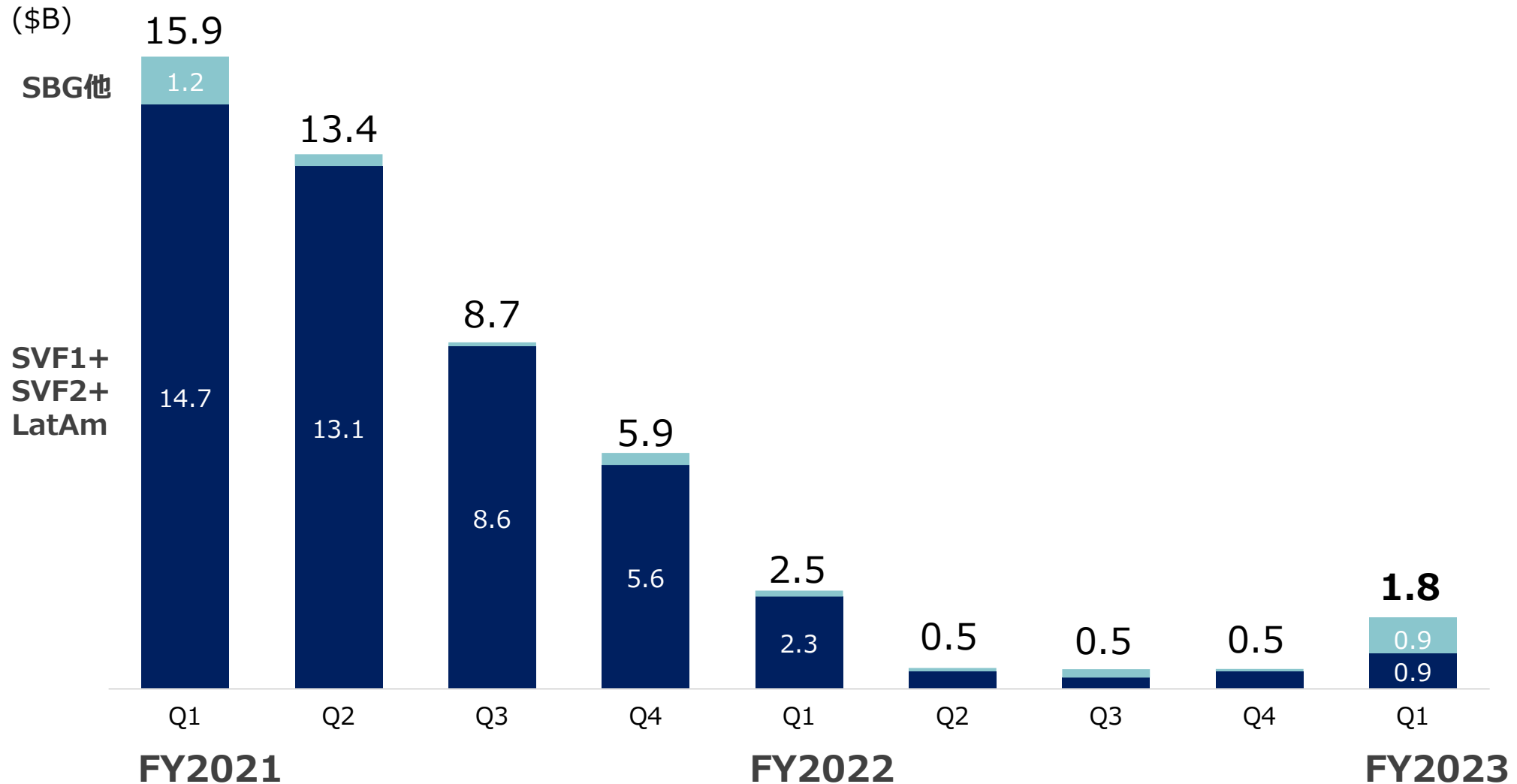
*3 外貨建社債の満期償還額はスワップレートにて円換算

*4 SVF、SBGおよび主な100%子会社からの投資額。期中平均為替レートにて円換算

*5 売却対価ベース

投資額の推移 (SVF1+SVF2+LatAmファンド+SBG他)

SVF2およびSBG他からの投資再開

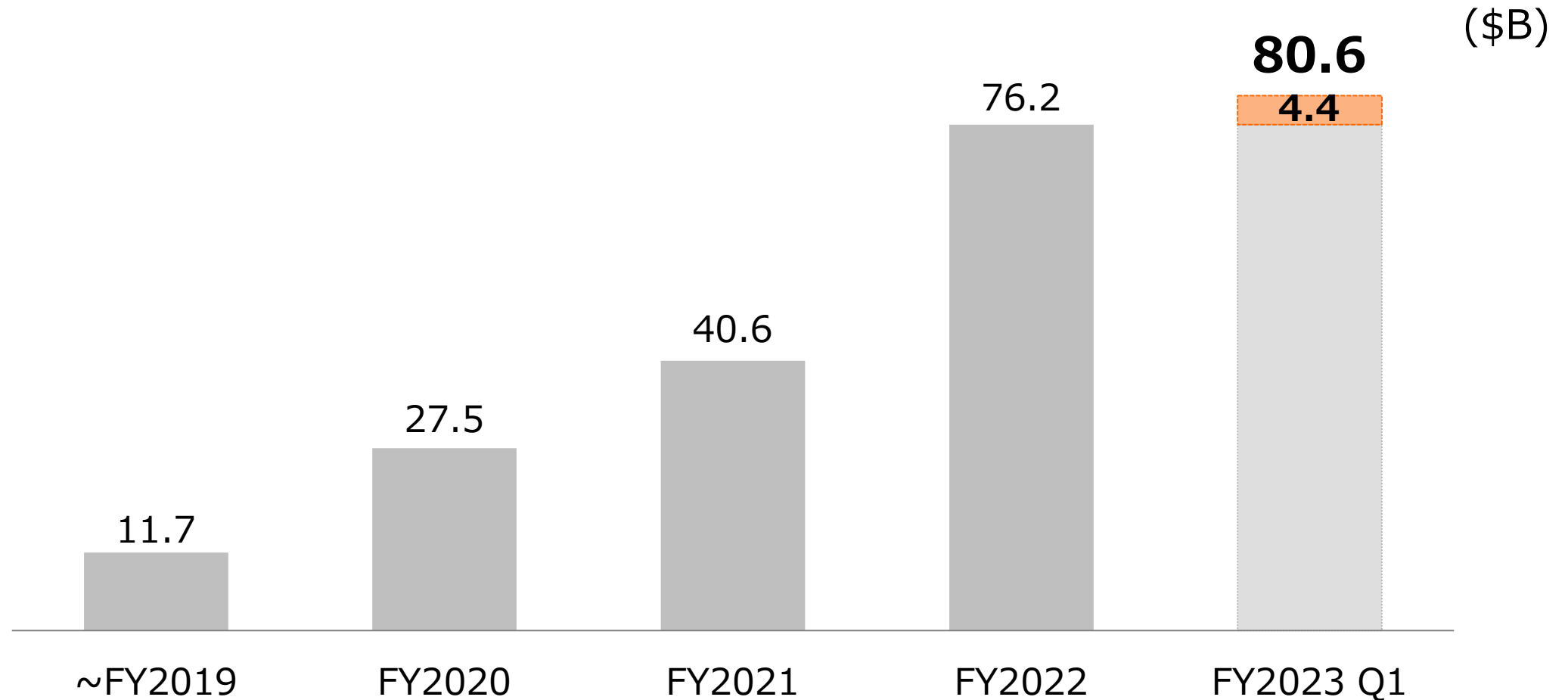


(注) SBG他投資額：SBGおよび主な100%子会社からの投資額。SVF投資額：新規および既存投資先への追加投資の合計。株式交換を含む。SBGからSVFへの移管に伴う投資額を除く。

アリババ株式の資金化実績

計\$80.6Bの資金化完了。Q1は\$4.4Bの資金化を実施

アリババ株式の資金化累計額



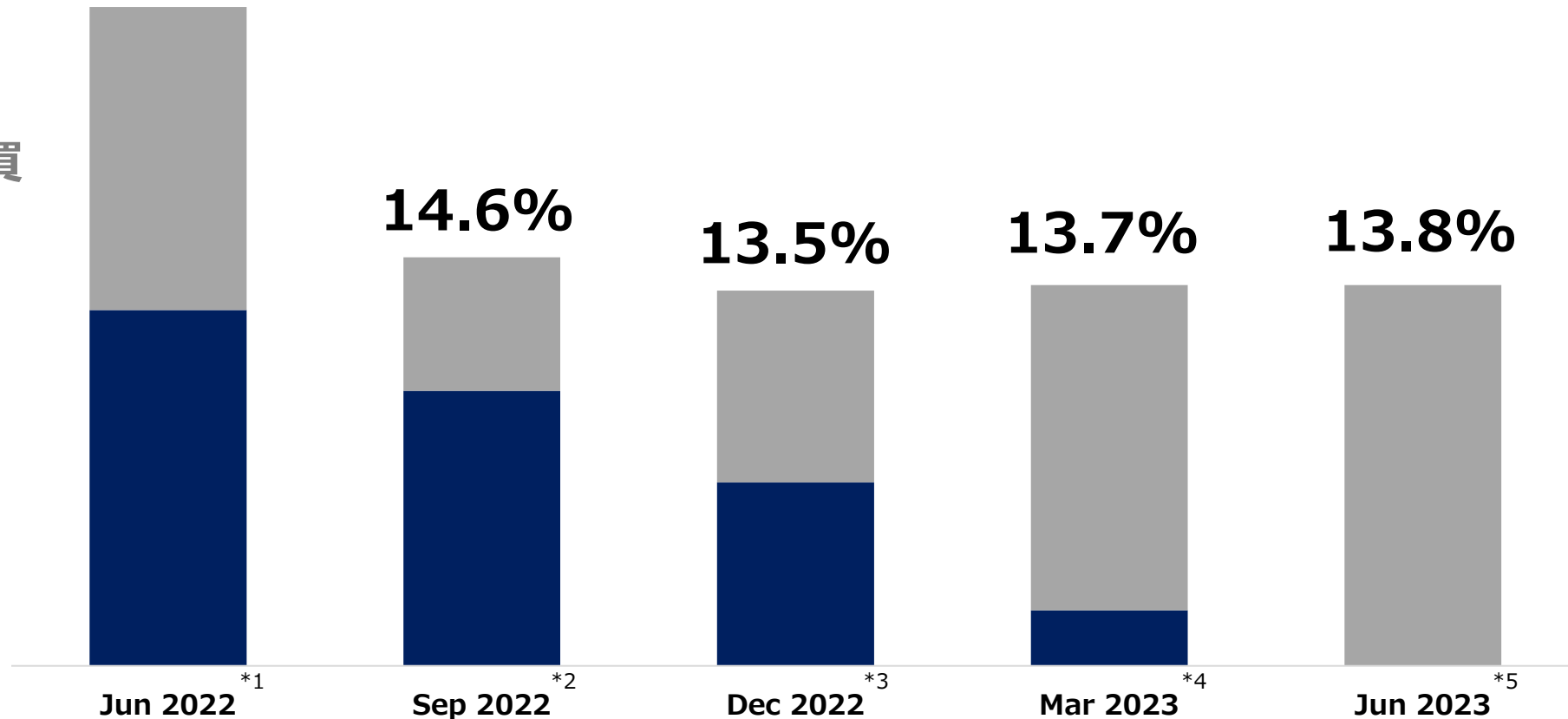
(注) 資金化額は、デリバティブ取引に係るオプションプレミアムや現金決済時の支出等、資金化に係るコスト等を控除した金額

アリババ株式の実質保有割合推移

株式先渡売買契約により資金化完了

実質保有割合 **23.7%**

株式先渡売買
契約使用分



*1 アリババのForm 20-Fに記載された2022年3月31日の発行済普通株式総数（自己株式を除く）21,357,323,112株に基づき算出

*2 同社のForm 20-Fに記載された2022年7月15日の発行済普通株式総数（自己株式を除く）21,185,107,544株に基づき算出

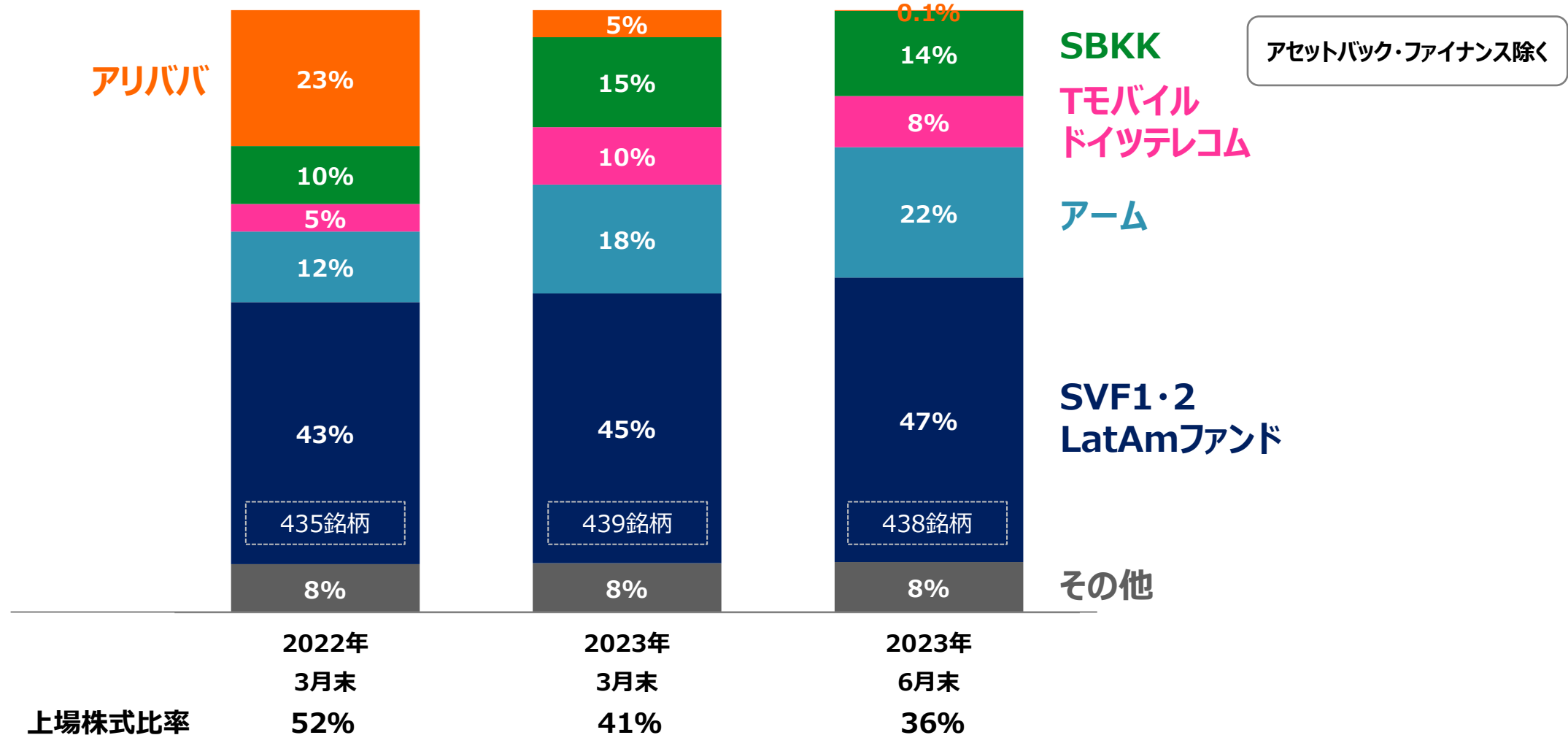
*3 2022年9月末の同社発行済普通株式総数（自己株式を除く）に基づき算出

*4 2022年12月末の同社発行済普通株式総数（自己株式を除く）20,680,409,344株に基づき算出

*5 2023年3月末の同社発行済普通株式総数（自己株式を除く）に基づき算出

保有株式価値

アームが中核アセットへ。アーム上場後は、流動性が大幅に向上見込み



(注) 保有株式価値の2023年6月末時点の詳細は、Appendix「2023年6月末：保有株式価値（算出方法）」、2023年3月末時点の詳細は、2023年3月期決算投資家向け説明会プレゼンテーション資料 財務編Appendix「2023年3月末：保有株式価値（算出方法）」、2022年3月末時点の詳細は、2022年3月期決算投資家向け説明会プレゼンテーション資料 財務編Appendix「保有株式価値（算出方法）」を参照

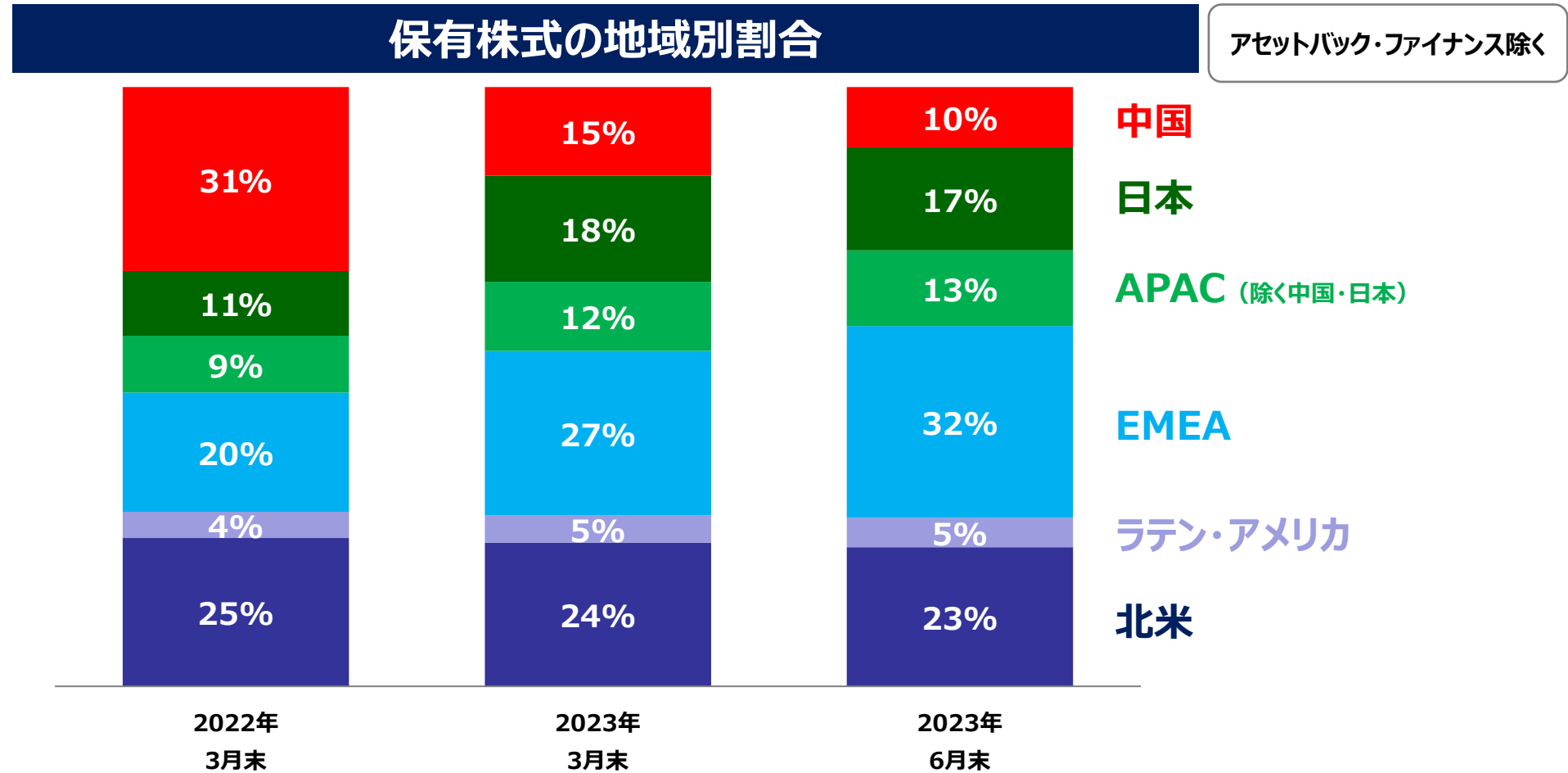
上場株式比率：アリババ、SVF1、SVF2およびLatAmファンドが保有する上場株式、SBKK、Tモバイル、ドイツテレコム、およびその他のうちの上場株式を含む（ただし、SVF1、SVF2およびLatAmファンドはSBGの持分のみを含む）。

(i) 2023年6月末時点のSBGの保有株式価値のうち上場株式価値の占める割合（アセットバック・ファイナンス控除後）と、(ii)アームの上場準備状況を踏まえた、2023年6月末時点のSBGのアーム保有株式価値（アセットバック・ファイナンス控除後）を合計すると58%となる。アームは既に上場準備の開始を発表しているが、上場の時期、上場後のアームの価値およびSBGのアーム保有株式価値については未定であり、これらについて何らの保証または示唆を与えるものではない。

2023年6月末におけるSVF1・2およびLatAmファンドが保有する銘柄数の内訳：SVF1は76件、SVF2は272件、LatAmは90件。詳細については、「2024年3月期 第1四半期 決算データシート」掲載の各ファンド投資先一覧を参照

ポートフォリオの分散

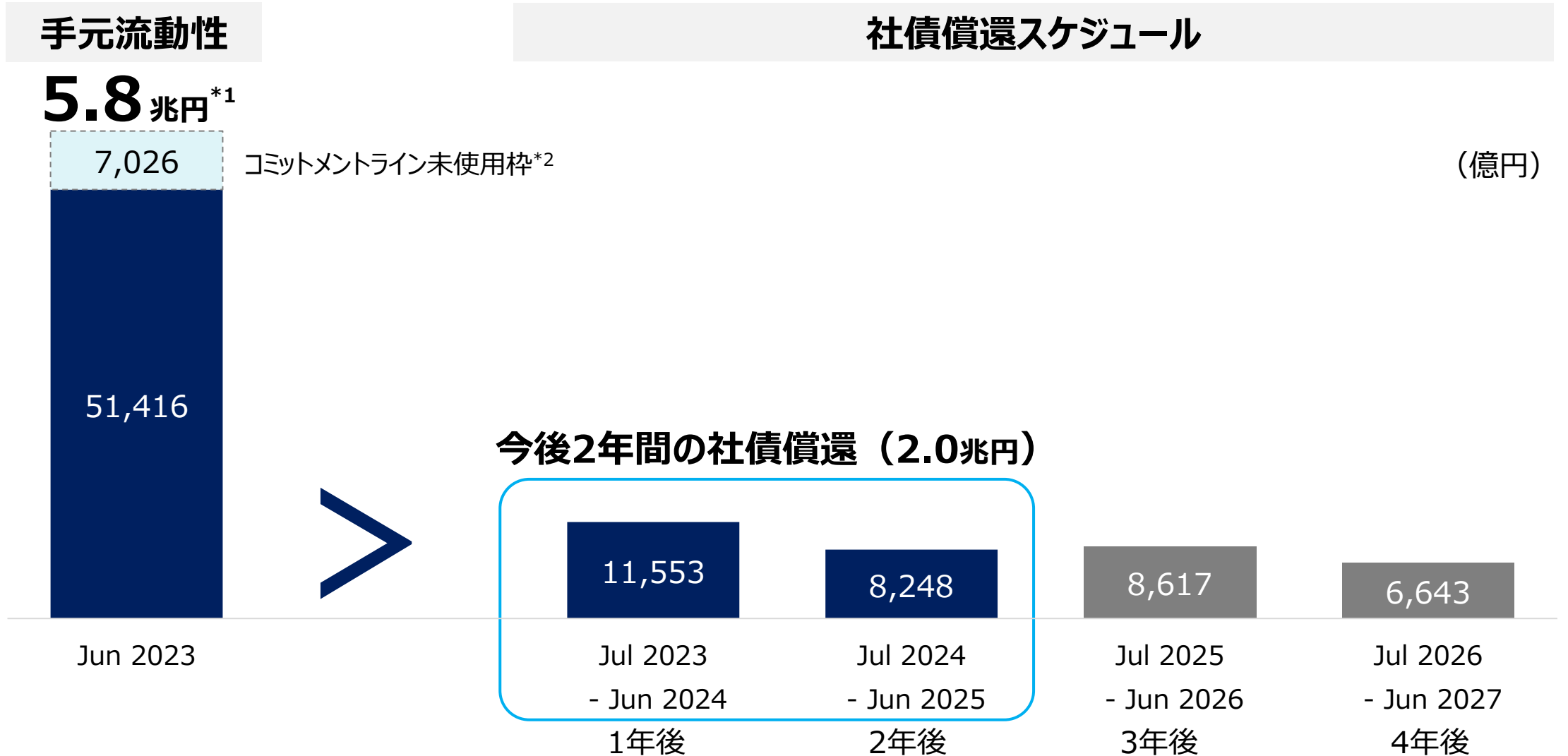
中国株式の割合が大幅に減少したことで、保有資産の地域分散が進む



(注) 各投資先の本社所在地に基づき地域を分類
 中国：アリババ、SVF1およびSVF2（中国相当）、その他の中国投資の合計
 日本：ソフトバンク、SVF1およびSVF2(日本相当)、その他の日本投資の合計
 APAC（除く中国・日本）：SVF1およびSVF2（中国・日本を除くAPAC相当）、その他の中国・日本を除くAPAC投資の合計
 EMEA：アーム、ドイツテレコム、SVF1およびSVF2（EMEA相当）、その他のEMEA投資等の合計
 ラテン・アメリカ：LatAmファンド、SVF1(ラテン・アメリカ相当)、その他のラテン・アメリカ投資の合計
 北米：Tモバイル、SVF1およびSVF2（北米相当）、その他の北米投資の合計

手元流動性

社債償還2年分を大幅に超える潤沢な手元流動性を確保



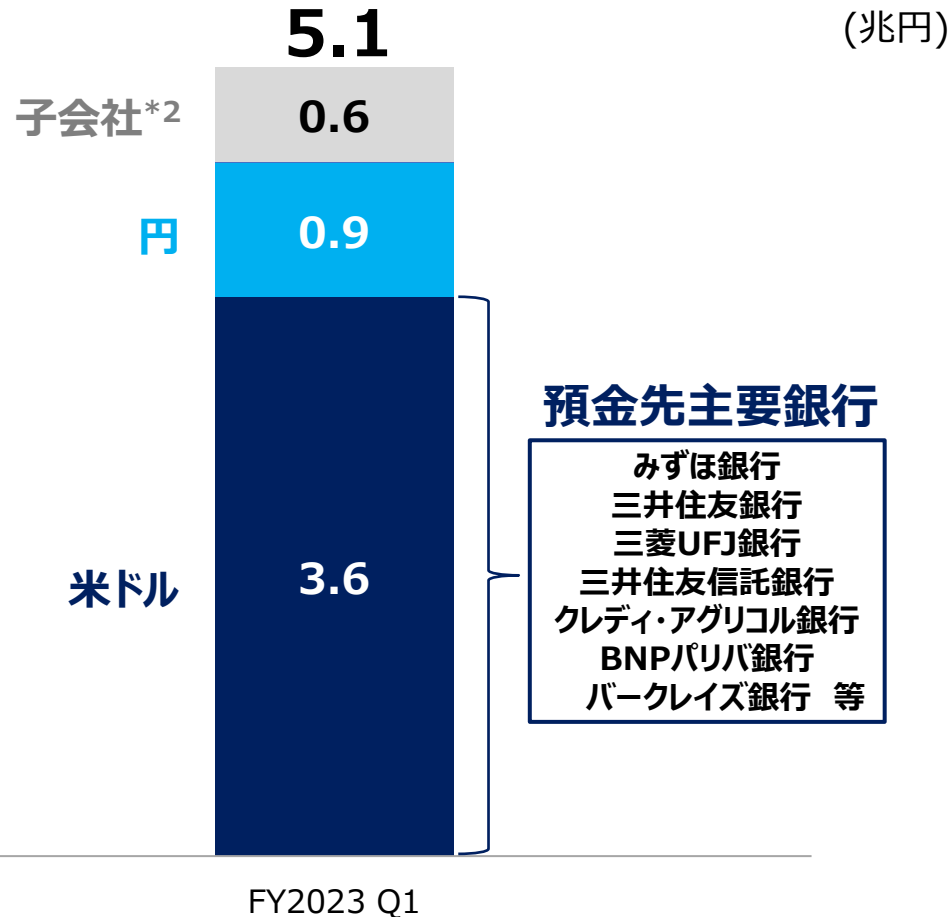
*1 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + コミットメントライン未使用枠。SBG単体ベース（SB Northstarを除く。ただし現金及び現金同等物は含む。）

*2 2023年6月末時点のコミットメントライン総額7,026億円相当は全額未使用

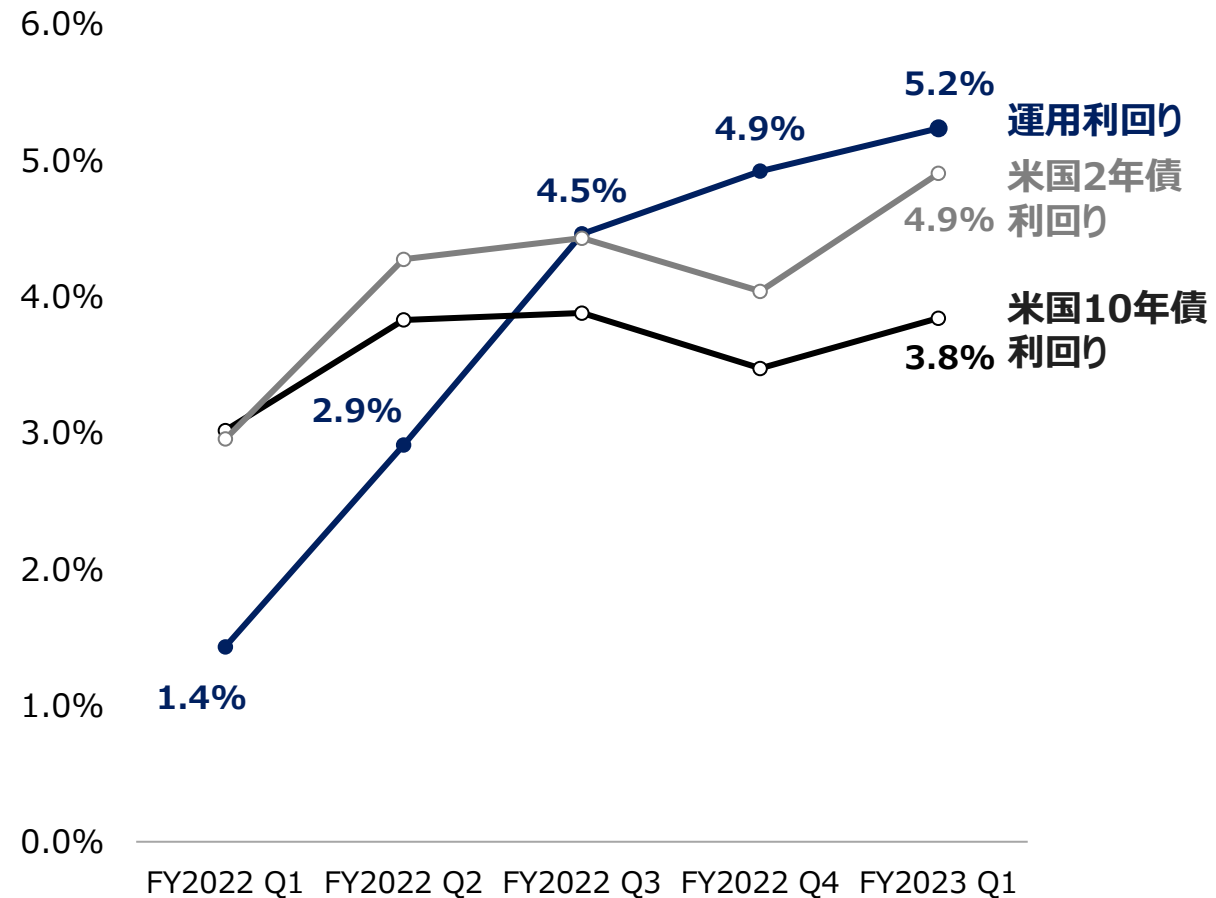
現預金の状況

余剰資金は引き続き複数の信用力の高い金融機関に分散して主に米ドル預金で運用

手元流動性の内訳*1



当社米ドル預金等の平均金利*3



*1 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資(資産運用子会社からの投資等)。SBG単体ベース (SB Northstarを除く。ただし現金及び現金同等物は含む。)

*2 SB Northstar 現金及び現金同等物を含む。

*3 四半期末平均

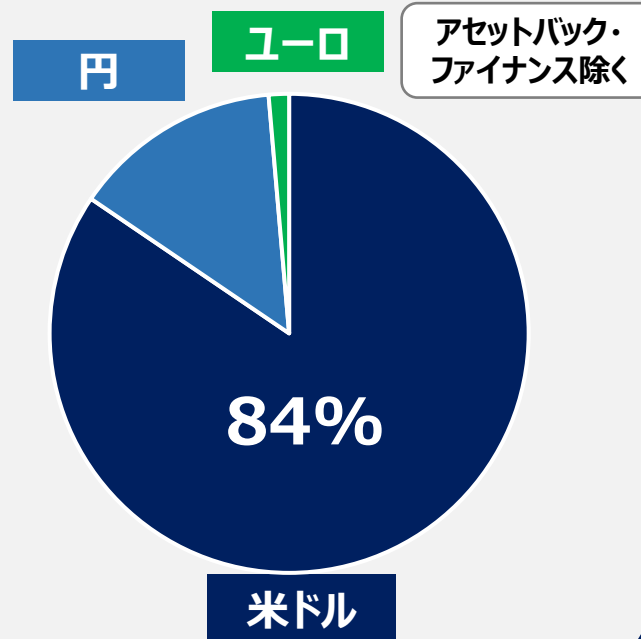
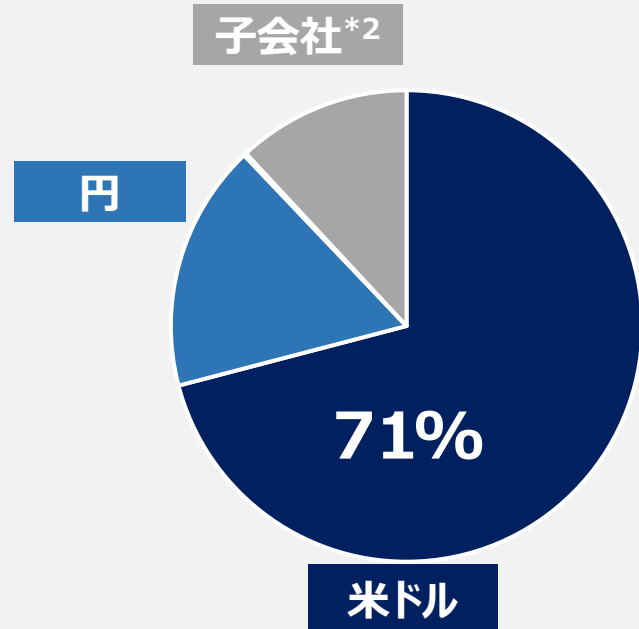
通貨内訳

投資と資金化、負債の調達と返済は原則それぞれ同通貨にて

投資と資金化

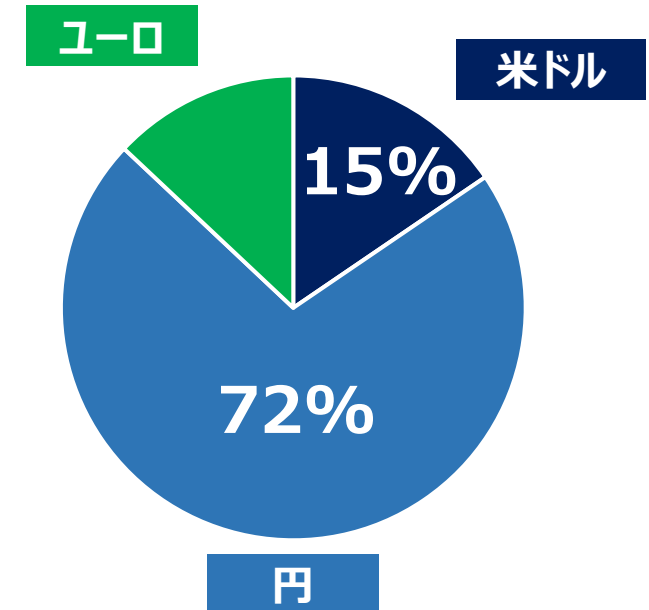
手元流動性：5.1兆円*1

保有株式価値：16.9兆円*3



負債構成

残高*4：6.6兆円



(注) 2023年6月末時点。1ドル=144.99円、1ユーロ=157.60円を前提に、円建て換算

*1 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資(資産運用子会社からの投資等)。SBG単体ベース (SB Northstarを除く。ただし現金及び現金同等物は含む。)

*2 SB Northstar 現金及び現金同等物を含む。

*3 SBG単体保有株式価値。詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体保有株式価値」を参照

*4 2023年6月末時点のSBG単体有利子負債 (子会社有利子負債を除く)

為替影響 (FY2023 Q1)

円安はNAVと資本にプラスの影響
 主にグループ会社からの外貨建借入に係る為替差損が発生

NAVへの影響

+1.3兆円

会計への影響

資本
+1.3兆円

連結純利益
-0.5兆円

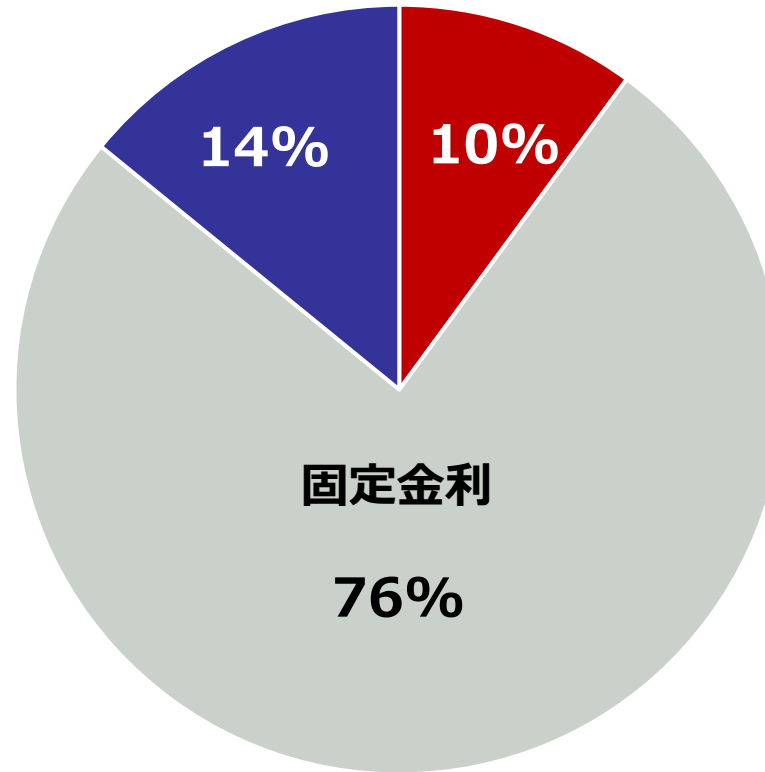
デットの固定・変動比率

短期的な金利上昇による利払急増のリスクなし

SBG単体有利子負債^{*1}における固定・変動比率

変動金利（ドル）

1%上昇で\$0.1B利払増
ドル預金の受取利息の上昇
で相殺



変動金利（円）^{*2}

1%上昇で88億円利払増^{*3}

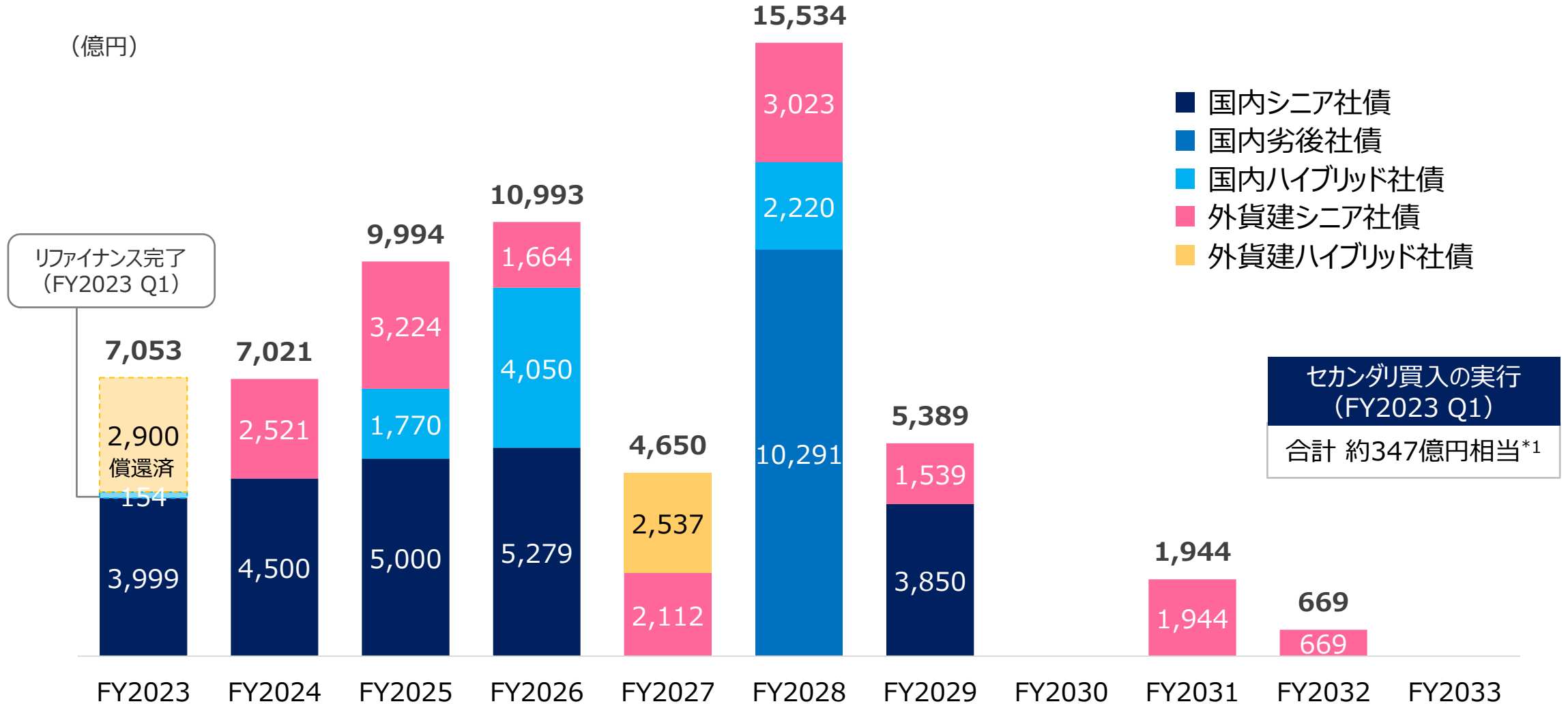
*1 2023年6月末時点のSBGおよび資金調達を行う子会社における有利子負債残高（含むマージンローン、除く株式先渡契約）

*2 含むCP残高

*3 円変動分にかかる12か月の利払増額（推計）

社債償還スケジュール

手元流動性および市場環境を考慮した起債運営を実施



*1 期中平均レートにて換算。通貨別の内訳は国内230億円、ユーロ建43百万ユーロ(64億円相当)、米ドル建38百万米ドル(53億円相当)。

• 2023年6月末時点発行残高。バイバックにより取得した社債を除く。

• ハイブリッド社債は、すべて初回コール日に早期償還するケース。

• 外貨建社債は、スワップを締結しているものはスワップレートにて換算、それ以外は1ドル=144.99円、1ユーロ=157.60円にて換算

FY2023 調達・運用方針

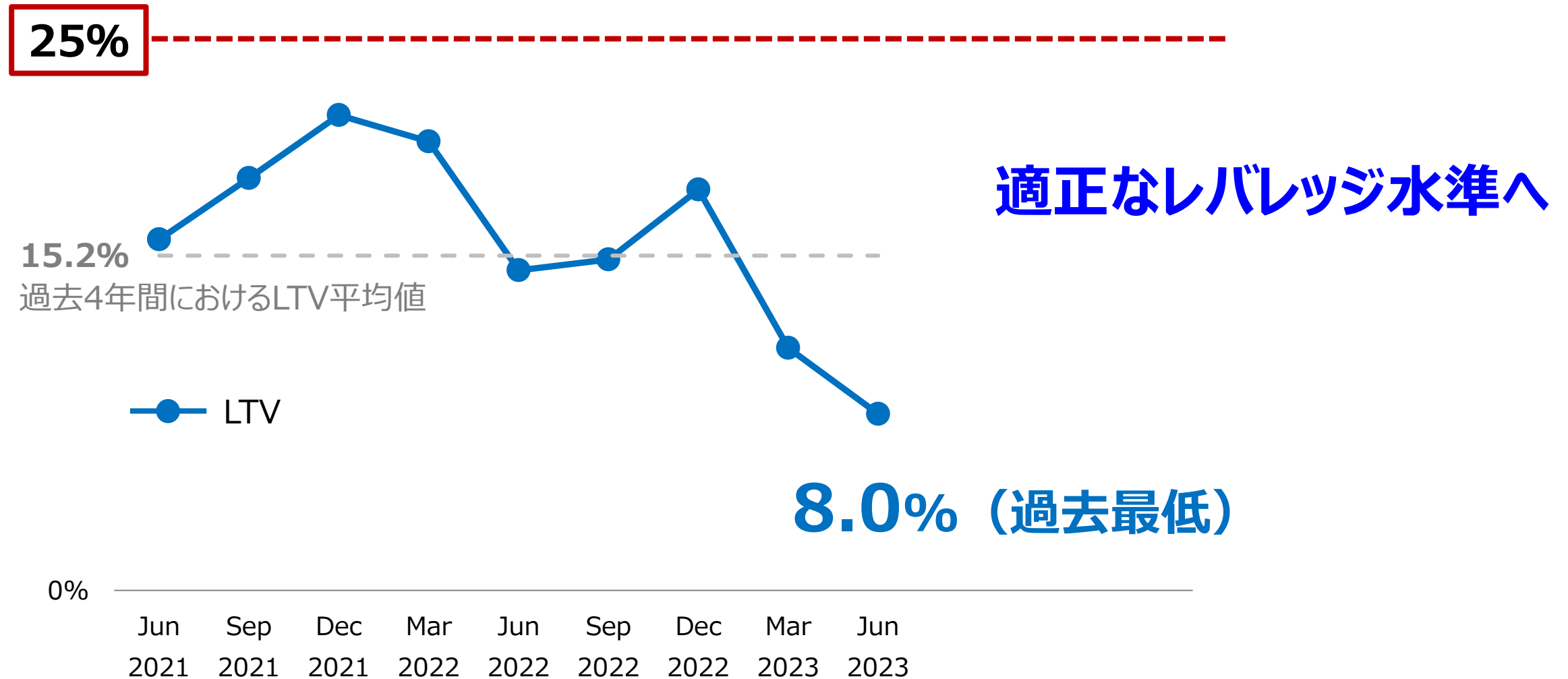
調達：リファイナンスベースでの調達が中心に

余資運用：運用の多様化に取り組み

調達	社債	<p>現時点では主にリファイナンスを想定。積極調達の予定なし</p> <p>国内：2024年3月に約4,000億円の国内債の償還</p> <p>海外：ハイブリッド債のリファイナンス完了</p>
	ローン	<p>現時点で予定はなし</p> <p>コミットメントラインは年度の定期更改を実行予定（Q2）</p>
	アセットバック ファイナンス	<p>豊富なネットアセットを活用した調達の多様化を常に検討</p>
余資運用		<p>現在は主に米ドル預金で運用</p> <p>信用力の高い複数の金融機関に分散</p> <p>引き続き運用の多様化に取り組む</p>

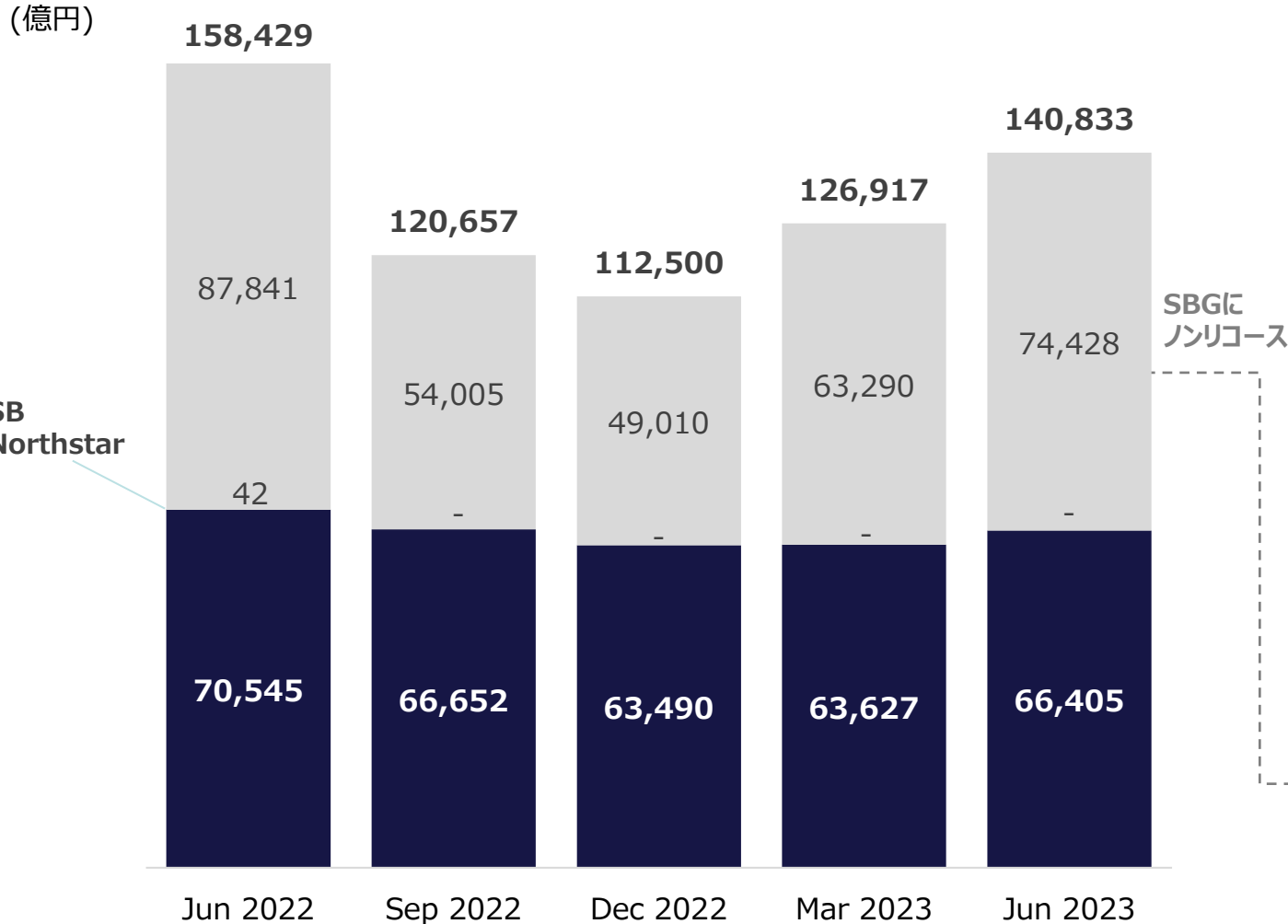
LTVコントロール方針

投資再開後も、余裕を持ったLTV管理を継続



SBG単体 有利子負債*1

リファイナンス目的のハイブリッド調達により、SBG単体有利子負債は微増



2023年3月末からの主な変動要因	
• ハイブリッド社債の発行、ハイブリッドローン調達計	+2,751億円*2
• 株式先渡売買契約の締結	+\$4.4B (アリババ)

2023年6月末 内訳		(億円)
SBG 借入金	対3月末	
銀行借入	2,942	-39
ハイブリッドローン	1,348	+511
その他	0	-
小計	4,290	+472
SBG 社債・CP		
国内シニア債	22,528	-206
国内劣後債	10,174	-202
国内ハイブリッド債	8,071	+2,182
外債	18,731	+200
CP	1,890	+280
小計	61,393	+2,253
SBG リース負債	104	-3
子会社 有利子負債		
株式先渡契約金融負債	52,382	+9,746
ドイツテレコム株式を活用したカラー取引	4,815	+402
ソフトバンク株式を活用したマージンローン	4,978	+3
アーム株式を活用したアセットバック・ファイナンス	12,253	+987
その他	617	+56
小計	75,045	+11,194
合計	140,833	+13,916

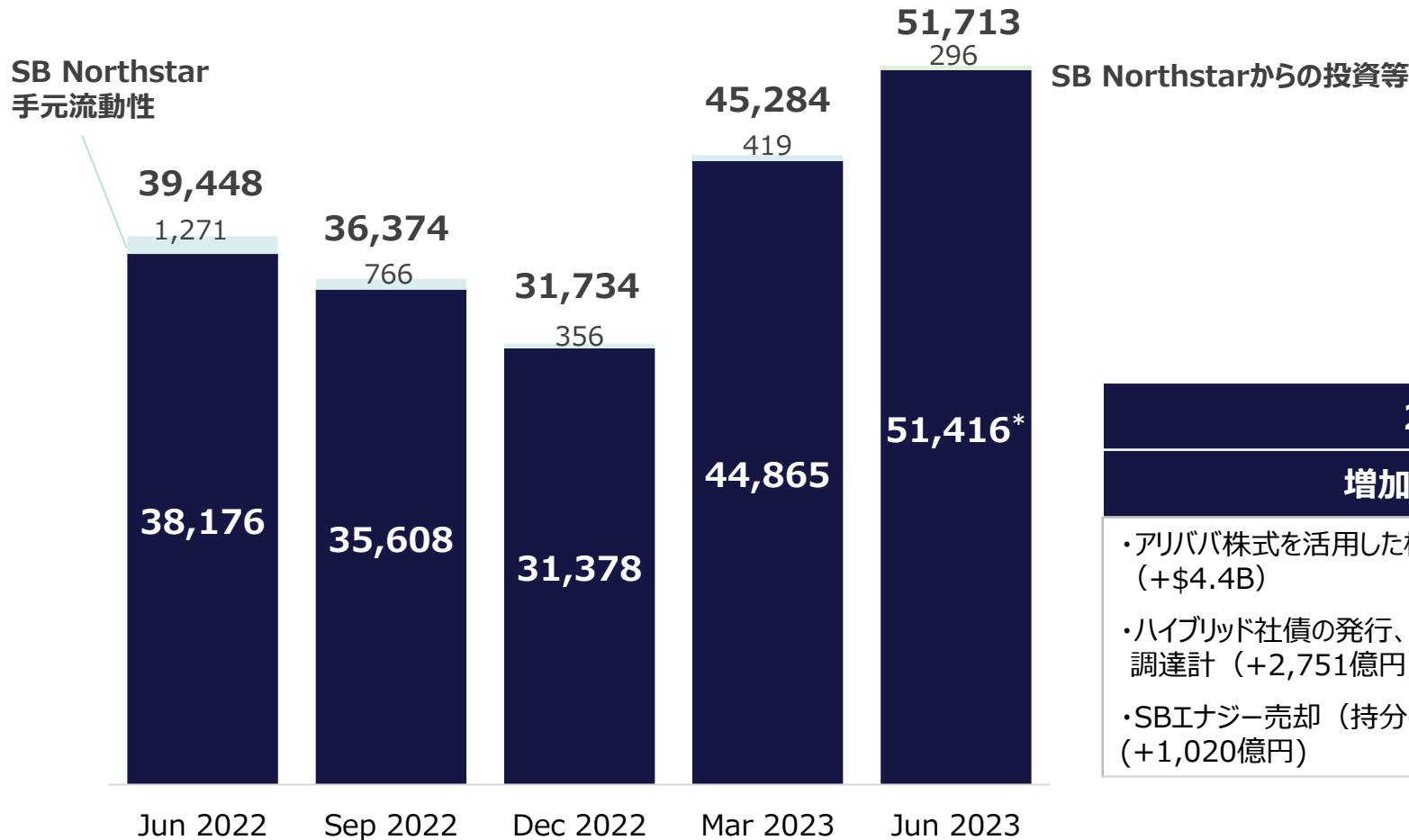
*1 SBG連結外部に対する有利子負債およびリース負債の合計

*2 当該ハイブリッド社債およびハイブリッドローンは、全額をSBG単体有利子負債に計上。調整後SBG単体純有利子負債においては、ハイブリッドファイナンス調整項目として、50%を有利子負債から控除。
詳細はAppendix「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債 詳細」を参照

SBG単体 手元流動性

5兆円を超える潤沢な手元流動性を確保

(億円)

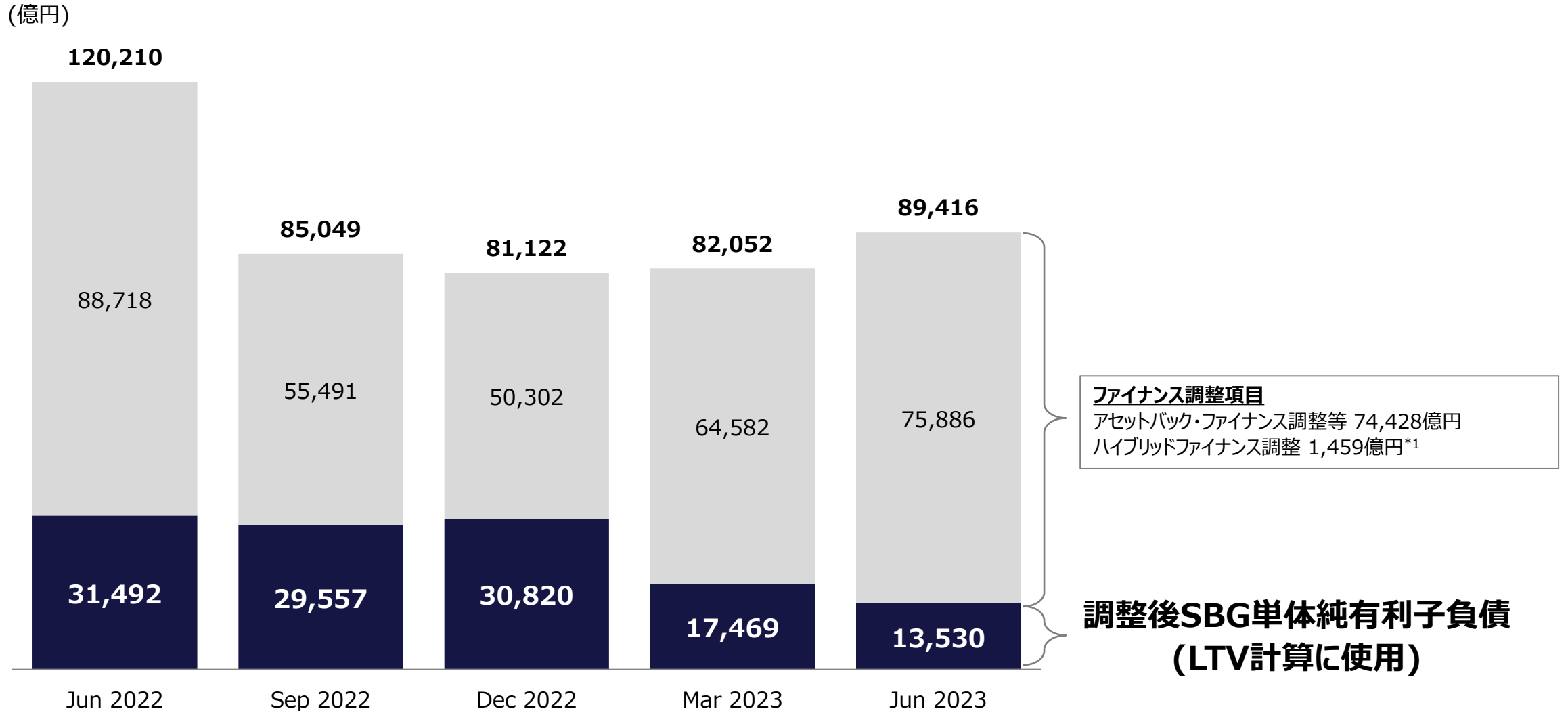


2023年3月末からの主な変動要因	
増加	減少
<ul style="list-style-type: none"> アリババ株式を活用した株式先渡売買契約 (+\$4.4B) ハイブリッド社債の発行、ハイブリッドローン 調達計 (+2,751億円) SBIナジー売却 (持分の85%) (+1,020億円) 	<ul style="list-style-type: none"> SVF2・LatAm・SBG等における投資 (-\$1.8B) 社債バイバックおよび満期償還 (-1,530億円相当) 税金等 (-2,896億円)

(注) 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資(資産運用子会社からの投資等)。SBG単体ベース
 * 2023年6月末より、SBG単体手元流動性にSB Northstar 現金及び現金同等物を含む (2,483億円)。

SBG単体 純有利子負債

調整後純有利子負債は1.4兆円の低水準まで大幅に減少

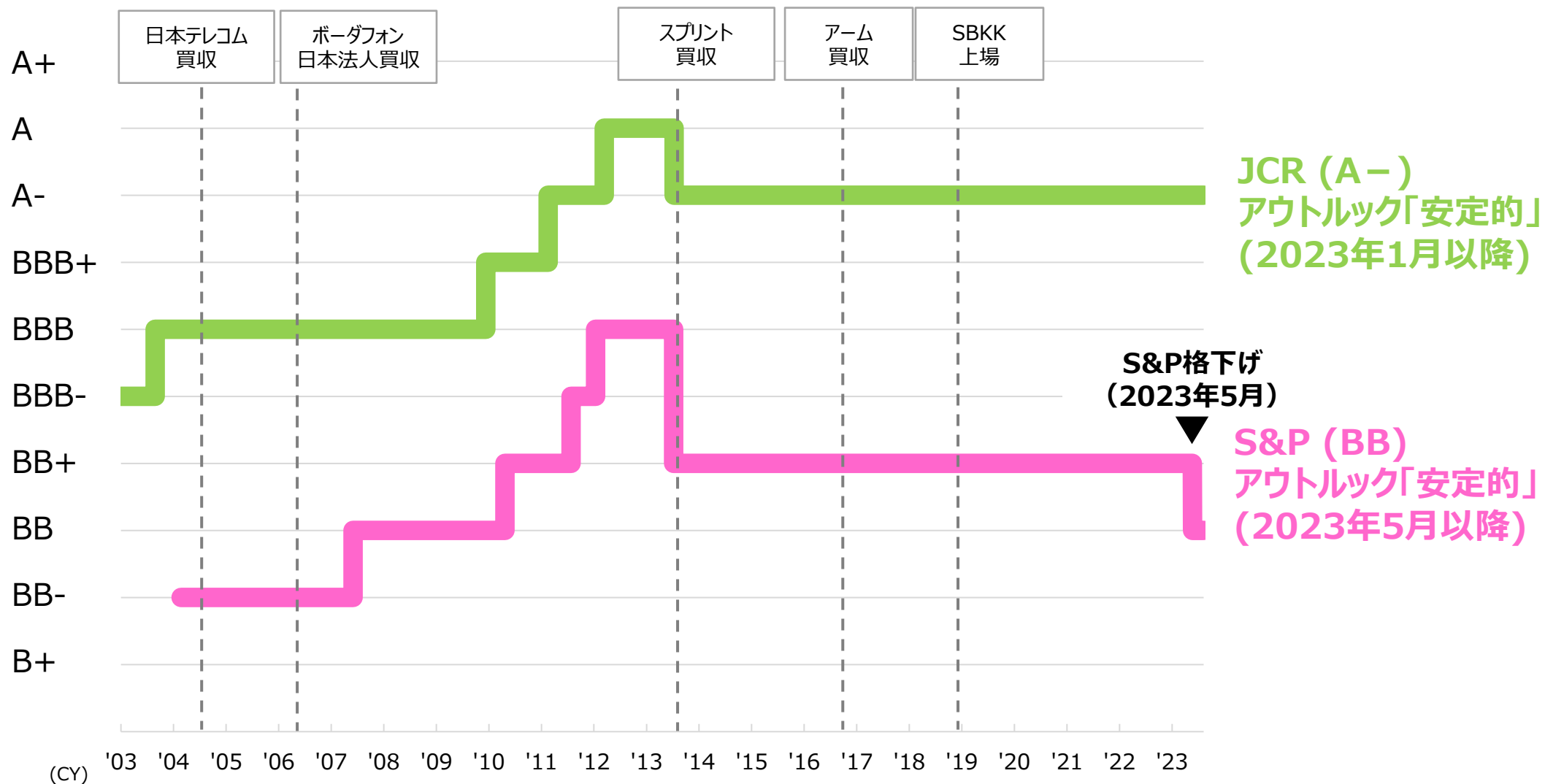


・ SBG単体手元流動性は、SB Northstarを除く。ただし現金及び現金同等物は含む。

*1 早期償還を通知済みのハイブリッド社債についてはその全額を有利子負債に計上（米ドル建ノンコール6年永久劣後社債（償還日：2023年7月19日）および第2回国内ハイブリッド社債（償還日：2023年9月16日））

詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債」を参照

SBGの格付推移



(注) 2023年8月8日時点

格付機関とのコミュニケーション（JCRおよびS&P）

経営陣を交えて格付機関との親密な対話を継続

格付機関の懸念点

上場株比率が回復しない

大幅なポートフォリオ価値の下落によってLTVが悪化

ファンドからの資金回収が遅れるなか、投資が急拡大し、流動性が悪化

更なる投資環境の悪化

当社の現状

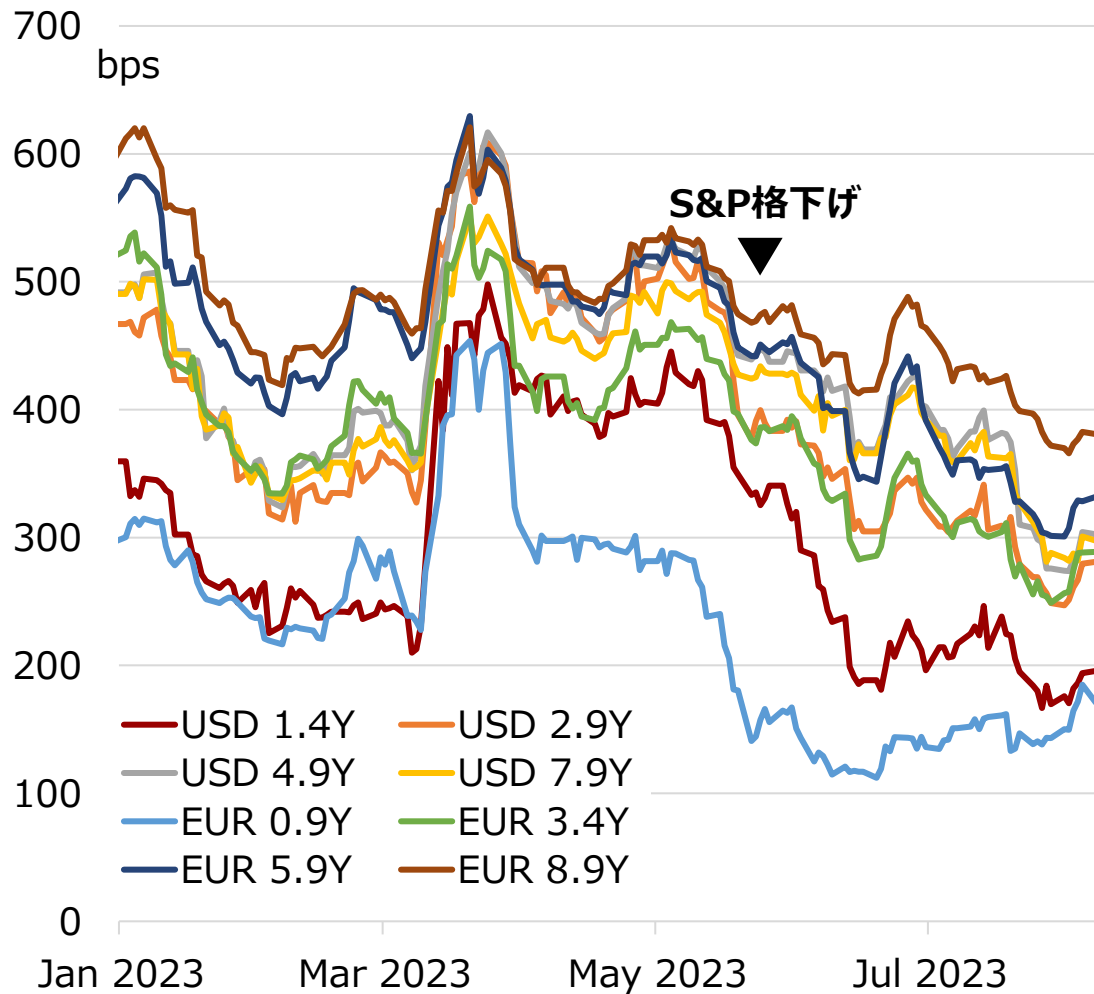
- アームの新規株式公開が実現した場合*1に大幅に回復見込み
- 上場株の減少は主に資金化によるものであり、手取金は最も流動性が高い現預金で保持
- 守りの財務運営により、LTVを8.0%に大幅改善
- 投資再開も投資ペースをコントロール
- 約6兆円にのぼる手元流動性を確保
- 上場株式のパフォーマンスが年初来で回復
- ファンド事業に底打ちの兆し

*1 本新規株式公開の規模及び価格帯はまだ決定されていない。本新規株式公開は、市場及びその他の状況、並びにSECによる審査プロセスの完了を条件としている。本件に関する詳細は、「Arm LimitedによるForm F-1登録届出書ドラフトのコンフィデンシャル・サブミッションに関するお知らせ」(<https://group.softbank/news/press/20230501>)を参照

当社クレジットスプレッド

格下げ後もタイト化基調で推移

SBG シニア外債スプレッド



SBG 5年CDS



(注) 2023年8月7日時点。BloombergおよびCapital IQを基に当社作成。2021年7月発行のシニア外債のZスプレッドを参照

財務方針の堅持

「守り」「攻め」
両面に対応
できる財務運営

1

通常時 LTV25%未満 で運用 (異常時でも上限35%)

2

少なくとも 2年分の社債償還資金 を保持

3

SVFや子会社から 継続的な配当収入 を確保

更なるダウンサイド
にも耐える「守り」

財務の安全性を
維持しつつ
情報革命を牽引する
投資は実行

通常時 LTV25%未満で運用
(2023年6月末 LTV=8.0%)

少なくとも2年分の社債償還資金を保持
(2023年6月末 手元流動性=5.8兆円)



バランスを常に考慮

* NAVディスカウント水準も考慮事項

SBG連結ベース法人所得税支払額(純額)

(億円)

	FY2018	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022	5年計
連結ベース	4,154	6,363	4,455	5,893	5,259	26,124
国内	2,843	5,752	3,105	5,512	4,697	21,909
SBGおよび国内中間持ち株会社 (100%子会社)	368	3,247	357	2,000	2,142	8,114
国内事業会社 (主にソフトバンク、ヤフー等)	2,475	2,505	2,748	3,512	2,555	13,795
海外	1,311	611	1,350	381	562	4,215

(注) 納付額と還付額の純額を記載
 法人所得税の支払額(連結)は、連結キャッシュ・フロー計算書における「法人所得税の支払額」と「法人所得税の還付額」の純額に一致
 FY2018の還付額のうち839億円、FY2020の還付額のうち1,211億円はそれぞれ前期に支払った税金の還付に該当するため前期の支払額とネットして表示
 SBGがFY2022の課税所得に基づきFY2023Q1に支払った2,292億円のキャッシュタックスは、上表のFY2022の法人税の支払額には含まれていない。

(参考) 連結法人所得税支払額トップ10 (FY18-22)

(億円)

	会社名	FY2018	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022	5年計
1	トヨタ自動車	8,366	7,775	8,101	8,098	12,972	45,312
2	NTT	6,134	4,883	5,243	4,343	7,384	27,987
3	ソフトバンクグループ°	4,154	6,363	4,455	5,893	5,259	26,124
4	INPEX	3,881	4,439	2,181	3,527	9,060	23,088
5	KDDI	2,887	3,040	3,314	3,671	2,895	15,807
6	三井住友フィナンシャルグループ°	2,838	2,858	1,357	2,687	3,844	13,584
7	本田技研工業	2,636	2,305	2,063	2,031	4,013	13,048
8	三菱UFJフィナンシャル・グループ°	3,020	1,281	1,247	2,201	4,775	12,525
9	日本郵政	3,672	2,215	1,686	2,748	1,246	11,568
10	ソニーグループ°	2,105	2,169	1,191	2,699	2,979	11,143

(注) 出所：S&P Global Capital IQ

基準：(1)日本市場における上場企業を抽出、(2)連結ベースの法人税支払額を集計(=連結キャッシュ・フロー計算書における法人税支払額+還付額)、(3)FY2018~2022の合計納税額ランキング上位10社
 ソフトバンクグループ：FY2018の還付額のうち839億円、FY2020の還付額のうち1,211億円はそれぞれ前期に支払った税金の還付に該当するため前期の支払額とネットして表示

Appendix

2023年6月末：保有株式価値（算出方法）

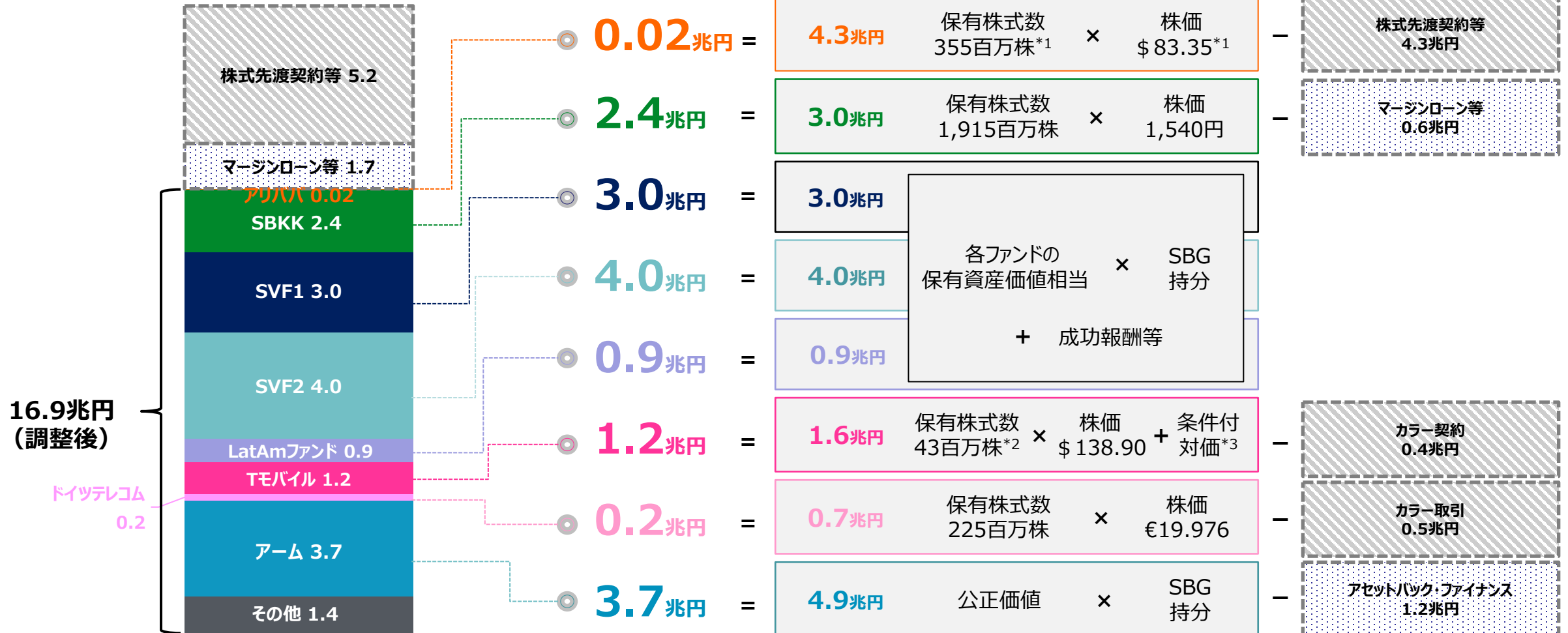
1USD=144.99円

(兆円)

23.8兆円
(調整前)

保有株式価値
(調整後)

保有株式価値
(調整前)



Jun 2023

(注) 各計算式の詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 保有株式価値 詳細」および「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債 詳細」を参照

*1 SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数および同証券の株価 *2 ドイツテレコムが保有する株式購入オプションの対象となる株式数を含む。

*3 一定の条件下でTモバイル株式をSBGとその子会社が取得できる権利の公正価値

LTVの算出：SBG単体 保有株式価値

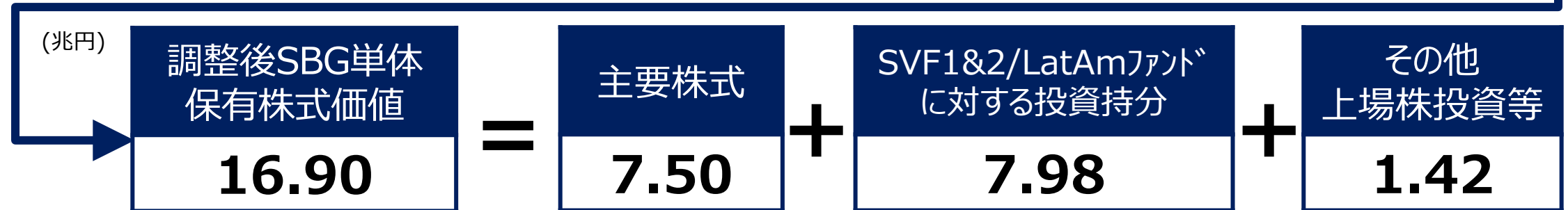
(L) 調整後 SBG単体 純有利子負債

1.35兆円

=8.0%

(V) 調整後
SBG単体 保有株式価値*1

16.90兆円



アリババ	+4.29	SBKK	+2.95	Tモバイル	+1.62	SVF1	+3.03
アセットバック・ファイナンス	-4.27	アセットバック・ファイナンス	-0.56	アセットバック・ファイナンス	-0.41	SVF2	+4.04
アリババ (調整後)	+0.02	SBKK (調整後)	+2.39	Tモバイル (調整後)	+1.20	LatAmファンド	+0.91
ドイツテレコム	+0.71	アーム	+4.88				
アセットバック・ファイナンス	-0.48	アセットバック・ファイナンス	-1.23				
ドイツテレコム(調整後)	+0.23	アーム (調整後)	+3.66				

(注) 2023年6月末時点

*1 調整後SBG単体保有株式価値の各アセット別の詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 保有株式価値 詳細」を参照

LTVの算出：SBG単体 保有株式価値 詳細①

(兆円)

保有株式	金額	計算方法
(a) アリババ	0.02	
調整前	4.29	SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数×同証券の株価
アセットバック・ファイナンス調整	-4.27	複数の株式先渡し買契約（フロア契約・カラー契約・フォワード契約・コールスプレッド）のうち、未決済分の満期決済金額（2023年6月30日の同社株価（米国預託証券）で算出）の合計額（4兆2,652億円）
(b) SBKK	2.39	
調整前	2.95	SBGの保有株式数×同社株価
アセットバック・ファイナンス調整	-0.56	SBKK株式を活用したマージンローン負債残高相当額等（5,609億円）
(c) SVF1	3.03	SVF1の保有資産価値相当に対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
(d) SVF2	4.04	SVF2の保有資産価値相当に対するSBGの持分等
(e) LatAmファンド	0.91	LatAmファンドの保有資産価値相当に対するSBGの持分+成功報酬の見込み金額
(f) アーム	3.66	
調整前	4.88	SVF1において算出されたアームの全株式の公正価値に基づくSBG持分の公正価値（希薄化前の発行済株式に対するSBGの持分：75.01%）
アセットバック・ファイナンス調整	-1.23	SBGが保有する同社株式を活用したアセットバック・ファイナンスによる借入の負債残高相当額（1兆2,253億円）

(注) 2023年6月末時点

LTVの算出：SBG単体 保有株式価値 詳細②

(兆円)

保有株式	金額	計算方法
(g) Tモバイル	1.20	
調整前	1.62	SBGの保有株式数（ドイツテレコムが保有する株式購入オプションの対象となる株式数（2023年6月末時点：34,971,809株）を含む）×同社株価 + 一定の条件下でTモバイル株式(48,751,557株)をSBGが無償で取得できる権利の公正価値
アセットバック・ファイナンス調整	-0.41	下記のアセットバック・ファイナンスの決済に必要な金額を控除 ・ドイツテレコムが保有する未行使の株式購入オプションに係るデリバティブ金融負債 ・Tモバイル株式を活用した株式先渡売買契約（カラー契約）の満期決済金額（同社株価で算出）（4,149億円）
(h) ドイツテレコム	0.23	
調整前	0.71	SBGの保有株式数×同社株価
アセットバック・ファイナンス調整	-0.48	2021年10月に実行した同社株式を活用したカラー取引の満期決済金額（4,794億円）
(i) その他	1.42	上場株式：SBGの保有株式数×各上場株式の株価 非上場株式：SBGが保有する未上場株式等の公正価値（公正価値で測定していない株式等はSBGのBS上の簿価）に基づいて算出 SB Northstar（上場株投資）：SB NorthstarのNAVに対するSBGの持分+SBGが保有するNVIDIA Corporation株式数×同社株価 ・SB Northstarの現金及び現金同等物ならびにマージンローンおよびプライムブローカレッジローン以外の有利子負債はSBG単体純有利子負債と見なして扱い、SB NorthstarのNAVの算出には含めない。なお、SB Northstarのマージンローンおよびプライムブローカレッジローンの残高は、2023年6月末においていずれもゼロ。
SBG単体 調整後保有株式価値	16.90	財務編P34からの(a)～(i)までの合計額

(注) 2023年6月末時点

LTVの算出：SBG単体 純有利子負債

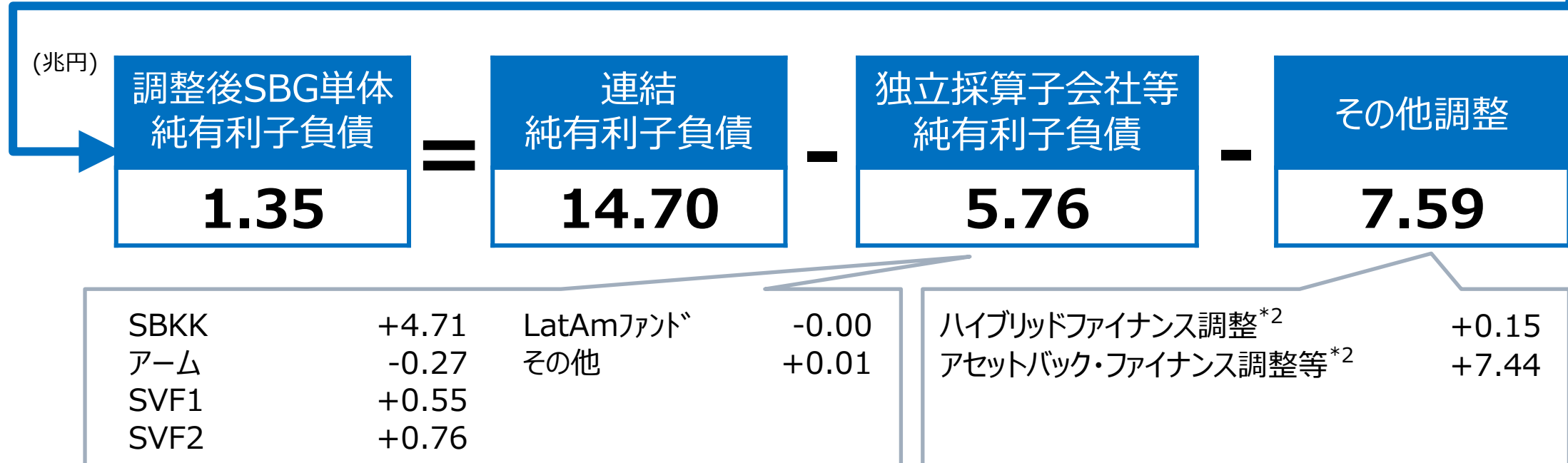
(L) 調整後
SBG単体 純有利子負債*1

1.35兆円

=8.0%

(V) 調整後SBG単体 保有株式価値

16.90兆円



(注) 2023年6月末時点

*1 各事業の純有利子負債はSBG連結外部に対する有利子負債のみ。PayPay銀行の「銀行業の預金－手元流動性」は含まない。

*2 詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債 詳細」を参照

LTVの算出：SBG単体 純有利子負債 詳細

(兆円)

SBG単体 調整前純有利子負債	8.94	連結純有利子負債-独立採算子会社等^{*1}の純有利子負債
ハイブリッドファイナンス調整	-0.15	ハイブリッド債およびハイブリッドローンについて、期限付きのものは連結会計上、全額が有利子負債に計上されるため50%を有利子負債から控除、永久債については連結会計上、全額が資本計上されているため50%を有利子負債に算入。 ただし、早期償還を通知済みのハイブリッド社債についてはその全額を有利子負債に計上（米ドル建ノンコール6年永久劣後社債（償還日：2023年7月19日）および第2回国内ハイブリッド債（償還日：2023年9月16日））。
アセットバック・ファイナンス調整等	-7.44	
アリババ	-4.76	アリババ株式を活用した複数の株式先渡売買契約（フロア契約・カラー契約・フォワード契約）に係る株式先渡契約金融負債（4兆7,647億円）
アーム	-1.23	同社株式を活用したアセットバック・ファイナンスによる借入の負債残高相当額（1兆2,253億円）
Tモバイル	-0.41	Tモバイル株式を活用した株式先渡売買契約（カラー契約）に係る株式先渡契約金融負債（4,098億円）
ドイツテレコム	-0.48	2021年10月に実行したドイツテレコム株式を活用したカラー取引に係る負債残高相当額（4,815億円）
SBKK	-0.56	SBKK株式を活用したマージンローン負債残高相当額等（5,615億円）
SBG単体 調整後純有利子負債	1.35	

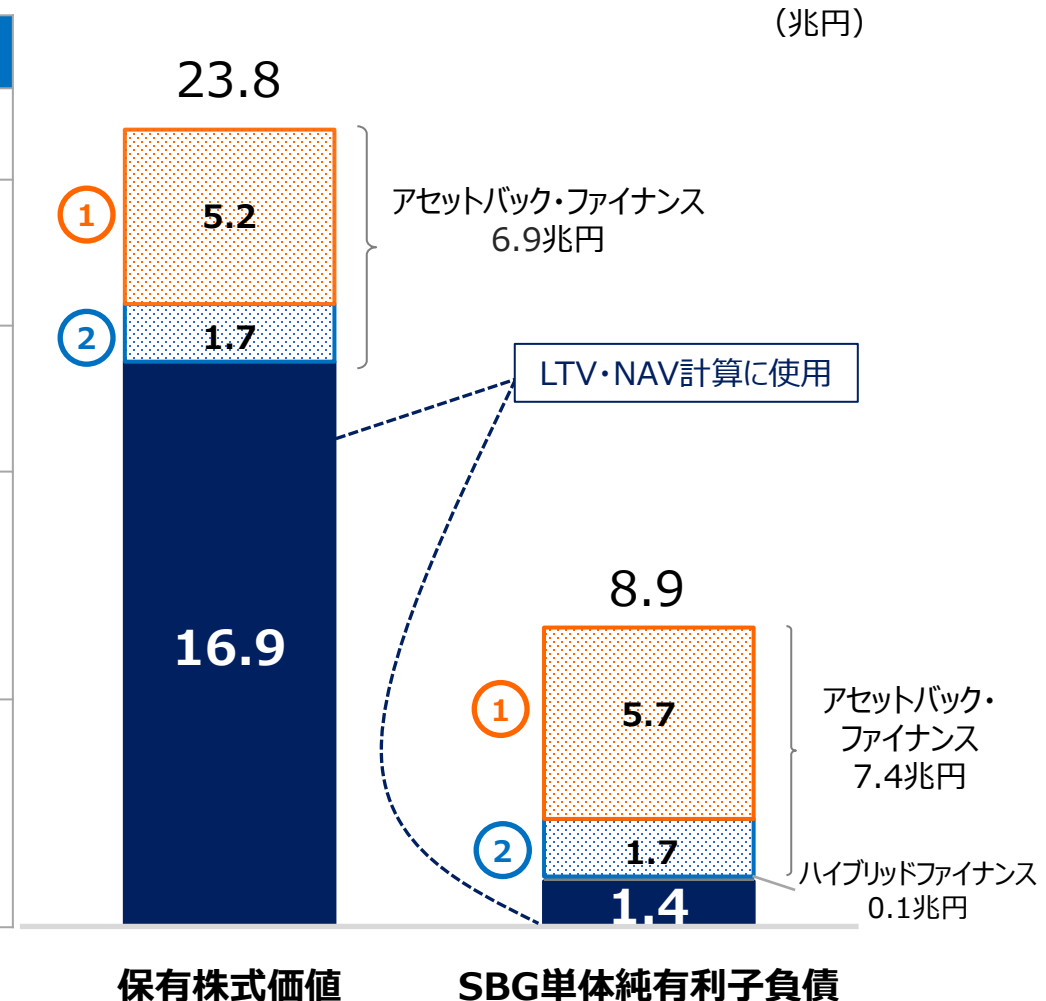
(注) 2023年6月末時点

*1 SB Northstarの現金及び現金同等物ならびにマージンローンおよびプライムブローカレッジローン以外の有利子負債をSBG単体純有利子負債に含める。なお、SB Northstarのマージンローンおよびプライムブローカレッジローンの残高は、2023年6月末においていずれもゼロ。

LTV・NAV計算におけるアセットバック・ファイナンス調整

ノンリコースのアセットバック・ファイナンスはデットから控除
同時に、決済に必要となるアセット価値をアセットから控除

	① フォワード／カラー／プット	② マージンローン等
主な対象株式	アリババ	SBKK／アーム
内容	株式先渡契約* ¹ に基づく資金調達 (SBGにノンリコース)	株式を担保に借入を行う資金調達 (SBGにノンリコース)
デット控除額	<ul style="list-style-type: none"> ・バランスシート計上金額 ・株価に関係なく不変 	<ul style="list-style-type: none"> ・バランスシート計上金額 ・株価に関係なく不変
アセット控除額	<ul style="list-style-type: none"> ・期末株価を基に算出した満期決済金額の想定額 ・株価水準によって変動 	返済に必要なアセット相当額 (バランスシート上のデット計上額)
株価下落の影響	<ul style="list-style-type: none"> ・フロア価格を下回る株価では受渡金額が減少 ・追加担保等や期限前返済は不要 	<ul style="list-style-type: none"> ・一定の株価水準を下回る場合、追加担保や期限前返済が必要 ・返済金額は不変



(注) 2023年6月末時点
*1 あらかじめ合意された価格 (フォワード) または価格レンジ (カラー・プット) で満期に対象株式を売買する契約を締結する。

(参考) フォワード取引、カラー取引

<p>目的</p>	<p>デリバティブを活用したノンリコースの資金調達</p>
<p>概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 将来時点で、当初合意した価格もしくはレンジで決済する取引 • 株式担保とそれを参照するデリバティブを見合いに資金調達 • 原則、満期において現金と株式による決済のいずれも選択可 • 株価下落で満期時の決済金額が減少、株価上昇で増加する
<p>フォワード取引</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 担保株式を、あらかじめ合意した<u>先渡価格</u>で決済 • 決済価格は、担保株式の株価変動にかかわらず固定。よって将来の株価上昇によるアップサイドは享受できない
<p>カラー取引</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 担保株式を、あらかじめ合意した<u>価格レンジ</u>で決済 • 株価下落時でも、価格レンジ下限で決済可。他方、株価上昇によるアップサイドは価格レンジ上限に限定

連結：有利子負債、手元流動性、純有利子負債

連結有利子負債*1

(単位:億円)

	Jun 2022	Sep 2022	Dec 2022	Mar 2023	Jun 2023
SBG単体	158,429	120,657	112,500	126,917	140,833
うち、SB Northstar	42	-	-	-	-
SVF1&2、LatAmファンド	14,134	14,811	13,199	13,227	14,199
ソフトバンク事業	62,202	61,350	62,096	61,347	62,406
その他（アーム等）	3,744	1,782	1,652	1,661	1,646
合計	238,509	198,600	189,448	203,152	219,085

連結手元流動性*2

(単位:億円)

	Jun 2022	Sep 2022	Dec 2022	Mar 2023	Jun 2023
SBG単体	39,448	36,374	31,734	45,284	51,713
うち、SB Northstar	1,271	766	356	419	296
SVF1&2、LatAmファンド	733	502	1,026	1,120	1,129
ソフトバンク事業	12,488	13,925	18,254	17,022	15,348
その他（アーム等）	6,671	6,478	3,661	3,830	3,888
合計	59,341	57,279	54,675	67,255	72,077

連結純有利子負債*3

(単位:億円)

	Jun 2022	Sep 2022	Dec 2022	Mar 2023	Jun 2023
SBG単体	118,981	84,283	80,766	81,633	89,120
うち、SB Northstar	-1,229	-766	-356	-419	-296
SVF1&2、LatAmファンド	13,401	14,310	12,174	12,107	13,070
ソフトバンク事業	49,713	47,425	43,842	44,325	47,058
その他（アーム等）	-2,927	-4,696	-2,009	-2,168	-2,241
合計	179,168	141,321	134,773	135,897	147,007

*1 SBG連結外部に対する有利子負債およびリース負債の合計。PayPay銀行の銀行業の預金は含まない。

*2 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資。PayPay銀行の手元流動性は含まない。2023年6月末より、SBG単体手元流動性にSB Northstar 現金及び現金同等物を含む。

*3 PayPay銀行の「銀行業の預金 - 手元流動性」は含まない。マイナス表記はネットキャッシュ